

2011年度 (社)尾道青年会議所

第8回 理事会



日時：2011年 8月 8日(月) 19:00～

場所：尾道国際ホテル

第8回 理事会

資料一覽

[議事次第]

1. 第8回 理事会

[理事長報告]

[資料]

1. 新入会員ガイダンス 事業報告 (案) 決算 (案)	1-1 ~ 4
2. ゆかた会 事業報告 (案) 決算 (案)	2-1 ~ 4
3. 会員拡大の実践	3-1 ~ 3
4. 夏期講習 事業計画 (案) 予算 (案)	4-1 ~ 7
5. 例会・総会の設営及び運営 事業計画 (案)	5-1 ~ 1
6. 例会・総会の設営及び運営 事業計画 (案)	6-1 ~ 11
7. 定款・運営規程の調査研究 事業計画 (案) 予算 (案)	7-1 ~ 23
8. 新理事研修の調査・研究・実践 事業計画 (案) 予算 (案)	8-1 ~ 10
9. しまなみ海道の魅力調査・研究の実践 事業計画 (案) 予算 (案)	9-1 ~ 23
10. 9月合同委員会 事業計画 (案)	10-1 ~ 5
11. 9月例会時間変更 事業計画 (案)	11-1 ~ 2
12. 仮入会研修 事業計画 (案) 予算 (案)	12-1 ~ 6
13. 9月例会 事業計画 (案) 予算 (案)	13-1 ~ 8
14. 親の教育力向上事業の調査・研究・実践 事業計画 (案)	14-1 ~ 9

2011年度（社）尾道青年会議所 第8回 理事会

日時：2011年 8月8日（月）19:00～

場所：尾道国際ホテル

次 第

1. 開 会
2. 点 鐘
3. JCI クリード唱和
4. JC 宣言朗読並びに綱領唱和
5. 出席者の確認
6. 配布資料の確認
7. 前回議事録の承認
8. 議事録作成者並びに議事録署名人の指名
9. 議題の確認
10. 理事長挨拶
11. 直前理事長挨拶
12. 理事長報告
13. 委員会報告
14. 審議事項
 - 第 1号議案 新入会員ガイダンス 事業報告（案）決算（案）に関する件
 - 第 2号議案 ゆかた会 事業報告（案）決算（案）に関する件
 - 第 3号議案 会員拡大の実践に関する件
 - 第 4号議案 夏期講習 事業計画（案）予算（案）に関する件
 - 第 5号議案 例会・総会の設営及び運営 事業計画（案）に関する件
 - 第 6号議案 例会・総会の設営及び運営 事業計画（案）に関する件
 - 第 7号議案 定款・運営規程の調査研究 事業計画（案）予算（案）に関する件
 - 第 8号議案 新理事研修の調査・研究・実践 事業計画（案）予算（案）に関する件
 - 第 9号議案 しまなみ海道の魅力調査・研究の実践 事業計画（案）予算（案）に関する件
 - 第10号議案 9月合同委員会 事業計画（案）に関する件
 - 第11号議案 9月例会時間変更 事業計画（案）に関する件
 - 第12号議案 その他
15. 協議事項
 - 第1号議案 仮入会研修 事業計画（案）予算（案）について
 - 第2号議案 9月例会 事業計画（案）予算（案）について
 - 第3号議案 親の教育力向上事業の調査・研究・実践 事業計画（案）について
 - 第4号議案 その他
15. 報告依頼事項
16. 連絡事項
17. 監事講評
18. 次回開催日の確認
19. 閉 会
20. 点 鐘

理事長報告

7月6日	第7回理事会	於：尾道国際ホテル
7月7日	新入会員ガイダンス	於：ロイヤルホテル
7月8日	中国地区協議会 会員会議所	於：岡山
7月9日	地区コンファレンス	於：岡山
7月9日	三体まつり	於：尾道市内
7月10日	広島ブロック 野球大会	於：広島 草津球場
7月15日	7月例会 ゆかた会	於：西山別館
7月16日	サマーコンファレンス	於：横浜
7月17日		
7月23日	尾道あかりプロジェクト	於：尾道市内
7月25日	第8回正副理事長会議	於：事務局
8月2日	8月合同委員会	於：公会堂別館
8月8日	第8回理事会	於：尾道国際ホテル

事務局連絡

8月12日(金)～16日(火)

事務所休所

8月20日	夏期講習	於：シネマ尾道
8月21日	8月例会・定時総会	於：尾道ふれあいの里
8月24日	新理事研修	於：グリーンヒル尾道
8月26日	寺子屋	於：尾道市内
8月27日		
8月28日	しまなみフェス	於：サンセットビーチ
8月29日	第9回正副理事長会議	於：事務局
	上程締め切り 25日17:00まで	
9月2日	9月合同委員会	於：ベイトウン尾道
9月6日	第9回理事会	於：尾道国際ホテル

委員会報告

期間:2011年7月6日～8月1日

委員会名	日時	場所	議題
ブロック会員研修	7月13日	事務局	新理事研修・9月合同委員会について
実行委員会	7月20日	事務局	新理事研修・仮入会研修・9月合同委員会について
夢のまち創造委員会	7月8日	事務局	シーサイドパレードについて
	6月23日	事務局	シーサイドパレードについて
	7月13日	308号室	シーサイドパレードについて
社会開発委員会			
尾道経済活性化委員会			
次代の宝育成委員会	7月19日	尾道塩干	寺子屋・シーサイドパレードについて
LOVEしまなみ委員会	7月11日	ラブワン	しまなみ海道夏の事業について
	7月19日	ラブワン	しまなみ海道夏の事業について
	7月21日	ラブワン	しまなみ海道夏の事業について
PEACEおのみち委員会	7月14日	事務局	遊休資源の活用について

(社) 尾道青年会議所 事業報告 (案) 決算 (案)

審議事項

事務局

理事セクレタリー：馬原 美晴

- (1) 議案名 新入会員ガイダンス 事業報告に関する件
- (2) 事業名 新入会員ガイダンス
- (3) 事業目的 (趣旨)
- a. (対外)
 - b. (対内) 本年度新入会員候補者に対し、尾道青年会議所の概要を理解して頂き、今後の活動を円滑に行えることを目標とする
- (4) 実施日時 2011年 7月 7日 (木) 19:00~20:30
- (5) 場 所 尾道ロイヤルホテル 3F 松竹の間
- (6) 参加人員 内部 31名 外部 6名 計 37名
(外部内訳：新入会員候補者 6名)
- (7) 外部協力者
- (8) 事業の目的は達したか？
尾道青年会議所が何をしてきた団体かという事については、PPで写真や文章を入れ説明をしたことで理解しやすかったと思う。仮入会員にとって今後の活動のイメージが出来たのではないかな。
- (9) 実施上の問題点
7月前半は比較的事業が多く、日時の選択に制限があるため、もっと早い時期に開催するなど考慮が必要であったと考えます。また、仮入会員の参加が10名中6名ということで、推薦者同伴など当日参加しやすい形をとる必要があった。
- (10) 次年度への引継事項
本年度は開会から閉会までを1時間30分としました。内容の詰め込み過ぎをなるべく控える事、また、集中力を保つためにも1時間半という時間で十分であると思います。
- (11) 委員長所見
今年度はセレモニーをなくしたが、メリハリに欠けました。我々が普段見慣れているセレモニーが仮入会員にどのように写り、どのように感じるかという事の議論は必要ながら、なぜセレモニーが必要なのかという事を考えると共に、それを仮入会員に伝える努力も必要であると思います。また、迎える側の姿勢や心構えを伝える手段として行う必要もあると考えます。

懇親会で会員と仮入会員との会話がスムーズに見えました。現役会員が積極的に交流している様子を見て、仮入会員が入り込みやすい雰囲気を作っていたただけことに感謝すると共に、今後交流していく上で良い事であったと思います。

(12) 添付資料

事業収支計算書 (案)

収支計算明細書 (案)

理事会 2011年 8月 8日

事業収支計算書(案)

事業名 新入会員ガイダンス

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		20,000	20,000	0	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入		30,000	30,000	0	
	登録料収入					0	
	懇親会収入					0	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
補助金等収入	雑収入					0	
	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
寄付金収入	民間助成金収入					0	
	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
収入合計				50,000	50,000	0	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出	25,410	25,410	0	
			設営費支出	18,500	19,950	-1,450	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			小計	43,910	45,360	-1,450	
		企画演出費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			企画費支出			0	
			演出費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
		小計	43,910	45,360	-1,450		
		本部関係費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			通信費支出			0	
			運送費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
		小計	0	0	0		
		講師関係費支出	食事代支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
			保険料支出			0	
			諸謝金支出			0	
			会合費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計	0	0	0		
		広報費支出	運営費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			通信費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
			P R 費支出			0	
		小計	0	0	0		
		資料作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
		小計	0	0	0		
報告書作成費支出	通信費支出			0			
	資料費支出			0			
	消耗品費支出			0			
	レンタル料支出			0			
	作成費支出			0			
小計	0	0	0				
懇親会費支出	人件費支出			0			
	会場費支出			0			
	設営費支出			0			
	旅費交通費支出			0			
	運送費支出			0			
	レンタル料支出			0			
	保険料支出			0			
	飲食費支出			0			
小計	0	0	0				
渉外費支出	役員渉外費支出			0			
記念品代支出				0			
小計	0	0	0				
旅費交通費支出	旅費支出			0			
	交通費支出			0			
	宿泊費支出			0			
小計	0	0	0				
参加記念品代支出				0			
保険料支出				0			
通信費支出				0			
販売物品仕入支出				0			
雑費支出				0			
事業予備費支出				6,090			
余剰金					4,640		
支出合計				50,000	50,000	0	

●余剰金 ¥4,640 については本理事会承認後、事業予備費に繰入れる。

(社) 尾道青年会議所 事業報告 (案) 決算 (案)

審議事項

事務局

理事セクレタリー：馬原 美晴

- (1) 議案名 ゆかた会 事業報告 (案) 決算 (案) に関する件
- (2) 事業名 ゆかた会「candle night」
- (3) 事業目的 (趣旨)
- a. (対外)
 - b. (対内) 尾道青年会議所の7月例会と言えはゆかた会です。OB・特別会員の皆様と、より一層の親睦を深めるため、また、本年度の様々な事業に対し現役メンバーの皆様の労を労うと共に、これからの5か月の英気を養って頂きたい。
- (4) 実施日時 2011年 7月15日 (金) 19:00～
- (5) 場 所 西山別館
- (6) 参加人員 内部 80名 外部 4名 計 80名
(内部内訳：正会員63名・特別会員6名・OB会員11名)
- (7) 外部協力者 スペシャルバンド4名
- (8) 事業の目的は達したか？
- 本年度は、アトラクションを入れず、雰囲気作りを重視し準備、運営をしてまいりました。その為、本来の月見例会とは違うものの、ゆかたを着てキャンドルの明かりの中という一味違った空間で、OBと現役会員がお酒を酌み交わしながら、より親睦が深められたものと思います。また、現役に対しては、OBとの交流から叱咤激励を頂き、これまでの事業の労を労われたのと同時に、今後の事業に対するモチベーションも上がったのではないかと思います。
- (9) 実施上の問題点
- 本年度、新年宴会においてOBの出席率が高かったため、ゆかた会におきましても多くの皆様にご出席いただくことを目的としておりましたが、当日のキャンセル等もあり、17名のご出席でした。様々な方にお声掛けさせていただきましたが、新年宴会や卒業例会と違いゆかた会は現役であるものという認識があるようで、前向きに検討される方が少なかったように思いました。
- (10) 次年度への引継事項
- OBの中で、ゆかた会は現役のものとする考えが少なからずあり、OBを呼ぶか呼ばないかをよく検討し、呼ぶのであればより周知していただけるようメンバー全体でお声掛けをしていく必要があると思います。また、OBをお招きするにあたり、現役の出席率も考えていかななくてはなりません。現役が揃わない状態でOBの方をお招きすることが、大変失礼であることを認識してい

く必要があると思います。

(11) 委員長所見

この度は会場の雰囲気作りをメインに、生演奏をいれるなど、派手なアトラクションをいたしませんでした。間延びする心配も頂きましたが、OBの方から「雰囲気が良かった」「時間が経つのが早く感じた」などご好評の声を頂きました。ただそれが会場の雰囲気だけでなく、現役が積極的にOB席へ足を運び、声を掛け、お酒と会話を楽しんでいたことで頂けたお声だと思っております。

委員長の皆様にはゆかた会間近に欠席メンバーの出席をお願いしました。人数の調整を頂きましたこと心から感謝申し上げます。

半世紀以上の歴史がある尾道JCです。それを作ってこられた先輩方を大切にしましょう。

(12) 添付資料

事業収支計算書（案）

収支計算明細書（案）

理事会 2011年 8月 8日

事業収支計算書(案)

事業名 7月例会 ゆかた会「candle night」

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		216,794	142,977	73,817	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入		100,000	100,000	0	
	登録料収入					0	
	懇親会収入			763,206	417,023	346,183	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
補助金等収入	雑収入					0	
	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
寄付金収入	民間助成金収入					0	
	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
収入合計				1,080,000	660,000	420,000	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出	12,076	19,488	-7,412	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			小計	12,076	19,488	-7,412	
		企画演出費支出	人件費支出	44,444	44,444	0	
			食事代支出	6,000	6,000	0	
			企画費支出			0	
			演出費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
		小計	50,444	50,444	0		
		本部関係費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			通信費支出			0	
			運送費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
		小計	0	0	0		
		講師関係費支出	食事代支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
			保険料支出			0	
			諸謝金支出			0	
			会合費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計	0	0	0		
		広報費支出	運営費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			通信費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
		小計	0	0	0		
		資料作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
消耗品費支出				0			
レンタル料支出				0			
作成費支出				0			
小計	0	0	0				
報告書作成費支出	通信費支出			0			
	資料費支出			0			
	消耗品費支出			0			
	レンタル料支出			0			
	作成費支出			0			
小計	0	0	0				
懇親会費支出	人件費支出			0			
	会場費支出			0			
	設営費支出			0			
	旅費交通費支出			0			
	運送費支出			0			
	レンタル料支出			0			
	保険料支出			0			
	飲食費支出	980,000	560,000	420,000			
	アトラクション費支出			0			
	小計	980,000	560,000	420,000			
渉外費支出	役員渉外費支出			0			
記念品代支出			0				
小計	0	0	0				
旅費交通費支出	旅費支出			0			
	交通費支出			0			
	宿泊費支出			0			
小計	0	0	0				
参加記念品代支出			0				
保険料支出			0				
通信費支出			0				
販売物品仕入支出			0				
雑費支出			0				
事業予備費支出			37,480				
余剰金					30,068		
支出合計				1,080,000	660,000	420,000	

●余剰金 ¥30,068 については本理事会承認後、事業予備費に繰入れる。

収支計算明細書(案)

事業名 7月例会 ゆかた会「candle night」

＜収入明細書＞

中科目	小科目	細目	摘要	予算額	決算額	差異	備考
事業費収入	事業予備費繰入収入			100,000	100,000	0	
			2079×63(正会員)	178,794	130,977	47,817	
			2000×6(特別会員)	38,000	12,000	26,000	
懇親会収入			4921×63(正会員)	423,206	310,023	113,183	
			5000×6(特別会員)	95,000	30,000	65,000	
			7000×11(OB会員)	245,000	77,000	168,000	
合 計				1,080,000	660,000	420,000	

＜支出明細書＞

中科目	小科目	細目	摘要	予算額	決算額	差異	備考	
事業費支出	会場設営費	設営費	看板作製費	10,500	18,000	-7,500	メディアジャンクション	
			ろうそく(100個×12.6)	1,260	1,260	0	尾道葬典社	
			紙コップ(80個×2)	316	228	88	ユニーホー	
						0		
						0		
						0		
						0		
	小 計				12,076	19,488	-7,412	
	懇親会費	飲食費	7000×80	980,000	560,000	420,000		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
	小 計				980,000	560,000	420,000	
	企画演出費	人件費	演奏者4名	44,444	44,444	0	スペシャルバンド	
			食事代	1500×4	6,000	6,000	0	西山別館
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
	小 計				50,444	50,444	0	
	小 計				0	0	0	
	小 計				0	0	0	
		参加記念品代支出					0	
	保険料支出					0		
	通信費支出					0		
	販売物品仕入支出					0		
	雑費支出					0		
事業予備費支出				37,480				
余 剰 金					30,068			
支 出 合 計				1,080,000	660,000			

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案)

審議 事項

委員会名：拡大推進会議

議長名：高橋 武也

(1) 議案名 会員拡大の実践に関する件

(2) 事業名 2011年度 仮入会審査

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外) b. (対内)

本年度は、9名の新入会員候補者がJC運動にご理解いただき尾道青年会議所への入会希望を頂きました。そこで定款第7条、運営規程第6条により8月理事会において仮入会審査を行い、新入会員候補者を仮入会員として迎え入れたいと考えます。

(4) 事業内容

a. 実施日時 2011年8月8日 (月)

b. 場 所 尾道国際ホテル

c. 予算総額 ￥0-

d. 参加人員 内部 外部 計 名 (内部内訳：)

e. 動員計画

f. 外部協力者

g. 実施組織・推進リーダー 拡大推進会議 高橋 武也

h. 実施手順・プログラム

2011年 7月 7日 (木) 新入会員ガイダンス

7月25日 (月) 第8回 正副理事長会議 審議

8月 8日 (金) 第8回 理事会 審議・審査

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

近年仮入会員全員を一つの委員会に配属することで仮入会から新入会へのスムーズな移行が出ているように感じます。本年度も審議後は仮入会員の対応を拡大推進会議から、ブロック会員研修実行委員会へバトンタッチすることとします。

(6) 審議のポイント

新入会員候補者及び正副推薦者について

(7) 会議での意見とその対応

意見)

対応)

(8) 他委員会への依頼事項等

審査から、夏期講習まで2週間の間があきますので、引き続き正副推薦者の方を中心に仮入会員へのフォローをよろしくお願い致します。また審査後は推薦者の方から新入会員候補者への連絡をお願い致します。

(9) 添付資料

2011年度 新入会員候補者一覧
推薦者資格一覧表
拡大推進会議意見書
新入会員候補者推薦書 (回覧)

理事会 2011年 8月 8日

定款 第7条(1)

運営規程 第6条 2(3)

2011年 8月 8日

意 見 書

(社)尾道青年会議所

拡大推進会議

議長 高橋 武也

会員拡大の調査および実践、本年度 9名の新入会員候補者を得ることができました。

候補者は皆、立派な社会人としての自覚を持ち、各企業においても指導者又は将来指導的立場に立つ青年たちです。

そして、(社)尾道青年会議所の活動に興味を持ち、賛同し、入会への強い意志を持っています。

8月の理事会におきまして、この候補者達が2名の推薦者による推薦書及び正推薦者の推薦の弁によって仮入会を承認していただけますよう宜しくお願い申し上げます。

尚、2名の推薦者は推薦者資格一覧にもあります通り、定款第7条(1)及び運営規程第6条(2)、(3)に定められた推薦資格を有していることをご報告致します。

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案) 予算 (案)

審議 事項

委員会名：尾道経済活性化委員会

委員長名：小林 輝久

(1) 議案名 夏期講習 事業計画 (案) 予算 (案) に関する件

(2) 事業名 夏期講習 テーマ「福祉日本一の町で ～介護について考えよう～」

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外)

b. (対内)

2011年度の夏期講習は、シネマ尾道→公立みつぎ総合病院総合福祉施設→ふれあいの里を使用させていただき、経営環境の外部リスクよりも、もっと差し迫ったリスクであると思われる介護について調査・研究していただきます。

自分の両親の介護によって仕事が出来なくなったり、従業員が両親の介護により突然退職する可能性も今後は増えてくると思われます。その時いかにして対処するか、今から色々な事を体験し、学ぶ事により今後の会社と従業員の良い環境作りに繋がりたいと思います。

(4) 事業内容

a. 実施日時 2011年 8月20日(土) 9時00分～ 8月21日(日) 10時00分

b. 場 所 シネマ尾道(尾道市東御所町6-2)

公立みつぎ総合病院保健福祉総合施設(尾道市御調町高尾1348-6)

尾道ふれあいの里(尾道市御調町高尾1369)

c. 予算総額 ¥1,300,000-(詳細は別紙予算書)

d. 参加人員 内部 86名 仮入会 9名 計 95名

e. 動員計画

f. 外部協力者 公立みつぎ総合病院保健福祉総合施設

g. 実施組織・推進リーダー 委員 河本清順

委員 山岡稔季

h. 実施手順・プログラム

2011年	6月27日(月)	第7回正副理事長会議	協議
	7月6日(水)	第7回理事会	協議
	7月25日(月)	第8回正副理事長会議	審議
	8月8日(月)	第8回理事会	審議
	8月20日(土)	夏期講習	実施
	8月21日(日)	夏期講習	実施

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

今回の夏期講習でのまとめは、会員各自置かれている状況が異なる為レポートにまとめる作業は行わずその変わりJC活動の基本にある奉仕活動で御調総合福祉施設に恩返しをしたいと計画中です、我々担当委員会で話を重ねるうちに尾道の観光資源でもある映画を

改めて感じて頂くためにシネマ尾道を午前中に、午後からは福祉日本一の御調町にスポットを当てて研修を組み立てました。本来ならビジネスとは、関係ない様に見える介護をクローズアップしすぐそこにある高齢化社会のリスクを調査・検証する機会になればと考えております。

(6) 審議のポイント

内容・予算について

(7) 会議での意見とその対応

意見) 研修を受けてのまとめの方法

対応) 2日目の講演終了後に時間を10分程度設けますので、各自でまとめてください。

その後、三分間スピーチ時に指名された方に発表してもらおう設えを検討中です。

(8) 他委員会への依頼事項等

福祉施設での見学を予定しています、青年会議所会員にふさわしい行動、服装、言動をよろしくお願ひします

(9) 添付資料

事業収支予算書 (案)

収支予算明細書 (案)

夏期講習 タイムスケジュール (案)

第1研修 映画『晩秋』要旨 (参考資料)

研修会場 会場案内図 (参考資料)

シネマ尾道資料 (回覧資料)

公立みつぎ総合病院資料 (回覧資料)

理事会 2011年 8月 8日

事業収支予算書(案)

事業名 夏期講習 テーマ「福祉日本一の町で ～介護について考えよう～」

収入の部							
大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		200,000	200,000	0	
	登録料収入	夏期講習事業登録料収入		151,767	178,794	-27,027	
	懇親会収入	夏期講習事業懇親会収入		751,233	771,206	-19,973	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
	雑収入					0	
補助金等収入	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
寄付金収入	民間助成金収入					0	
	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
収入合計				1,103,000	1,150,000	-47,000	

支出の部							
大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出	20,000	116,600	-96,600	
			設営費支出	7,000	10,500	-3,500	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			小計	27,000	127,100	-100,100	
		企画演出費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			企画費支出	15,000		15,000	
			演出費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
		小計	15,000	0	15,000		
		本部関係費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			通信費支出			0	
			運送費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
		小計	0	0	0		
		講師関係費支出	食事代支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
保険料支出				0			
諸謝金支出			5,250	-5,250			
会合費支出				0			
記念品代支出			0				
小計	0	5,250	-105,350				
広報費支出	運送費支出			0			
	会場費支出			0			
	設営費支出			0			
	通信費支出			0			
	消耗品費支出			0			
	レンタル料支出			0			
	作成費支出			0			
	PR費支出			0			
小計	0	0	0				
資料作成費支出	通信費支出			0			
	資料費支出	550	768	-218			
	消耗品費支出			0			
	レンタル料支出			0			
作成費支出			0				
小計	550	768	-218				
報告書作成費支出	通信費支出			0			
	資料費支出			0			
	消耗品費支出			0			
	レンタル料支出			0			
作成費支出			0				
小計	0	0	0				
懇親会費支出	人件費支出			0			
	会場費支出			0			
	設営費支出			0			
	旅費交通費支出			0			
	運送費支出			0			
	レンタル料支出			0			
	保険料支出			0			
	飲食費支出	0	142,500	-142,500			
アトラクション費支出			0				
小計	0	142,500	-142,500				
渉外費支出	役員渉外費支出			0			
	記念品代支出			0			
小計	0	0	0				
旅費交通費支出	旅費支出			0			
	交通費支出	102,000		102,000			
	宿泊費支出	903,000	807,500	95,500			
小計	1,005,000	807,500	197,500				
参加記念品代支出			0	0			
保険料支出		12,900	9,600	3,300			
通信費支出			0	0			
販売物品仕入支出			0	0			
雑費支出			0	0			
事業予備費支出				57,282	-57,282		
支出合計				1,045,450	1,150,000	-204,650	

収支予算明細書(案)

事業名 夏期講習

<収入明細書>

中科目	小科目	細目	摘要	予算額	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			200,000	
夏期講習事業登録料収入			, @2,079X86	178,794	例会運営費
夏期講習懇親会収入			, @7,921x86	681,206	
			, @10,000x9	90,000	
合 計				1,150,000	

<支出明細書>

中科目	小科目	細目	摘要	予算額	備考	
事業費支出	会場設営費	会場費	研修会場	17,100	尾道ふれあいの里	
	会場設営費	設営費	看板代	10,500	メディアジャンクション	
	会場設営費	設営費	ゴミ袋・軍手	3,500	アスクール	
	会場設営費	会場費	映画館使用料	96,000	シネマ尾道	
	小 計				127,100	
	旅費交通費	宿泊費	, @8,500x86	731,000	尾道ふれあいの里	
			, @8,500x9	76,500	尾道ふれあいの里	
	小 計				807,500	
	懇親会費	飲料費	飲み放題@1,500x95	142,500	尾道ふれあいの里	
	小 計				142,500	
	研修費	資料作成費	用紙代	768	事務局	
	研修費	講師謝礼	海産物詰め合わせ	5,250	カタオカ	
	小 計				6,018	
	小 計				0	
	参加記念品代支出					
	保険料支出		レクレーション保健(@100X96	9,600	ラブワン	
	通信費支出					
	販売物品仕入支出					
	雑費支出					
	合 計				1,150,000	

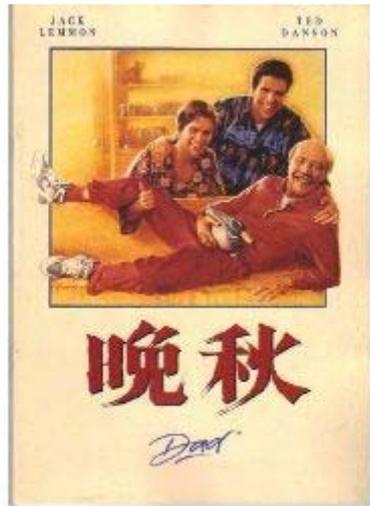
2011年度(社)尾道青年会議所 夏期講習 タイムスケジュール(案)

研修1日目

8月20日(土)	内容	詳細	場所
8:30~9:00	受付		シネマ尾道
9:00~9:30	開講式	理事長挨拶 委員長趣旨説明 研修概要説明	シネマ尾道
9:30~11:30	第1研修	映画鑑賞 『晩秋』	シネマ尾道
11:30~13:30	移動・昼食		
13:30~15:30	第2研修	施設見学及び講演研修 ①介護研修ビデオ観賞 ②介護保険について座学 ③地域包括ケアについて ④施設見学	公立みつぎ総合病院 保健福祉総合施設
15:30~16:00	移動・休憩		
16:00~17:00	第3研修	奉仕活動(草刈り及び清掃)	公立みつぎ総合病院 保健福祉総合施設周辺
17:00~18:30	自由時間	チェックイン・入浴 等	尾道ふれあいの里
18:30~20:30	夕食・居酒屋の青春	仮入会員紹介 担当:拡大推進会議	尾道ふれあいの里 本館3F あじさいの間
20:30~	自由時間		尾道ふれあいの里

研修2日目

8月21日(日)	内容	詳細	場所
7:30	起床	洗面・着替え	尾道ふれあいの里
7:50~8:00	朝礼・早朝散歩		尾道ふれあいの里 周辺
8:00~8:40	朝食	朝食・入浴・チェックアウト 等	尾道ふれあいの里 本館3F あじさいの間
8:40~9:40	第4研修	施設講演研修 「JCと介護事業について」 (有)トツツ代表 狩野牧人先輩	尾道ふれあいの里 本館3F あじさいの間
9:40~9:45	閉講式	委員長総括 副理事長謝辞	公立みつぎ総合病院 保健福祉総合施設
9:45~10:00	移動・休憩		
10:00~12:00	8月例会・定時総会	例会・総会 担当:事務局	尾道ふれあいの里 本館3F あじさいの間
12:00~	解散		



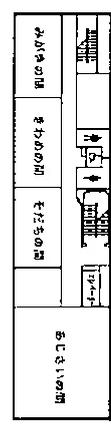
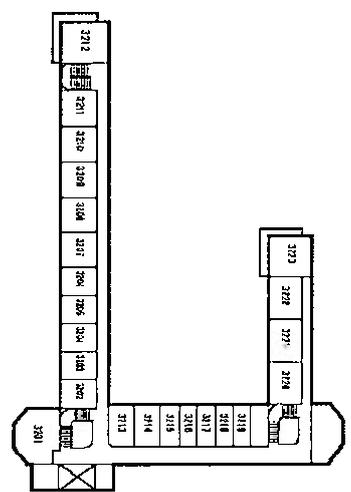
解説

年老いた父と息子の交流を通して、家族の絆を描くドラマ。エグゼクティヴ・プロデューサーはスティーヴン・スピルバーグとフランク・マーシャル、キャストリー・ケネディ。ウィリアム・ワートンの原作を基に、製作・監督・脚本はゲイリー・デイヴィッド・ゴールドバーグ、共同製作はジョゼフ・スターン、撮影はジャン・キーサー、音楽はジェームズ・ボナーが担当。出演はジャック・レモン、テッド・ダンソンほか。

あらすじ

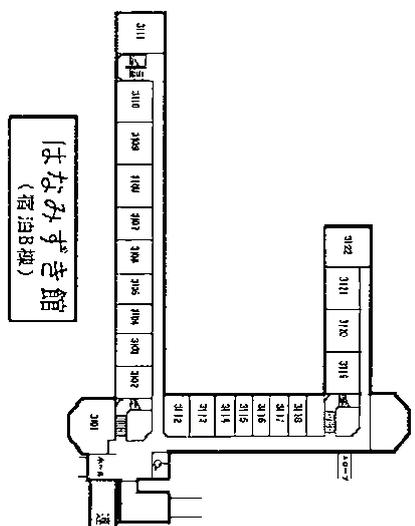
家族を犠牲にして仕事に生きるジョン・トレモン(テッド・ダンソン)のもとに、ある日母のベット(オリンピア・デュカキス)が心臓麻痺で倒れた、と知らせが入る。ジョンが病院に到着した時、母は安定を取り戻していたが、彼にとって逆に父のジェイク(ジャック・レモン)の老いた姿が驚きだった。そしてジョンはその日から、すっかり生気を失った父の面倒をみて、一緒に暮らしてゆくことを決意するのだった。息子の愛情あふれる介抱に、ジェイクはすっかり元気を取り戻す。そしてふたりのもとに、離れて暮らしていたジョンの息子ビリー(イーサン・ホーク)が訪ねてやって来る。そしてベットも退院。ジェイクは、久しぶりに娘のアニー(キャシー・ベイカー)やその夫マリオ(ケヴィン・スペーシー)たちにも囲まれ、幸せな日々を過ごす。しかしそんな折、ジェイクがガンに犯されていることが分かり、それを知らされたジェイクは、ショック状態に陥った。つきっきりのジョンの看病と、チャド医師(ゼイクス・モカエ)の配慮で、数週間後の朝、ジェイクは意識を取り戻す。しかし今度は、気の強いベットとの生活の中で、ジェイクはもうひとつの生活を夢みる二重人格的な行動をとるようになる。そんな夫に反発するベットも、ジョンの説得でそれを受け入れた。こうしてジェイクは、家族の理解に包まれて、静かに息を引きとるのだった。

地上 2 階

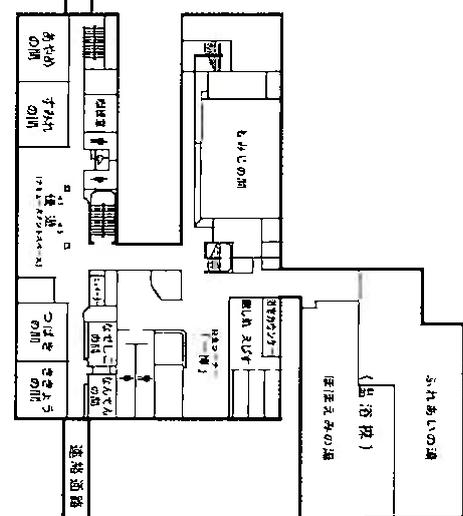


3 階

地上 1 階

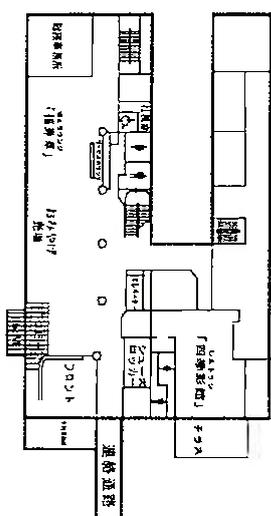
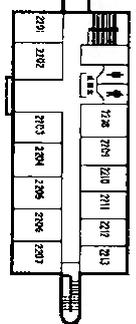


はなみずき館
(宿泊B棟)



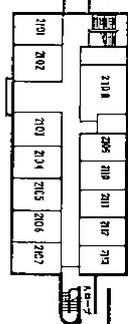
ふれあい温泉館
(出浴棟)

2 階



さくら館
(本館)

さつき館
(宿泊A棟)



1 階

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案)

審議 事項

事務局

理事セクレタリー：馬原 美晴

- (1) 議案名 例会・総会の設営及び運営 事業計画 (案) に関する件
- (2) 事業名 8月例会 日程及び場所の変更
- (3) 事業目的 (趣旨)
- a. (対外)
 - b. (対内) 夏期講習開催に伴い、8月例会の開催日を決定し、開催場所を変更したい。
- (4) 事業内容
- a. 実施日時 8月21日 (日) 10時00分～12時30分
 - b. 場 所 尾道ふれあいの里 (尾道市御調町高尾1369)
 - c. 予算総額 ¥0
 - d. 参加人員 内部 95名 外部 名 計 名
(内部内訳：現役会員86名・仮入会員 9名)
 - e. 動員計画
 - f. 外部協力者
 - g. 実施組織・推進リーダー 理事セクレタリー 馬原美晴
 - h. 実施手順・プログラム
- | | | | |
|-------|-------|------------|----|
| 2011年 | 8月25日 | 第8回正副理事長会議 | 審議 |
| | 8月 8日 | 第8回理事会 | 審議 |
| | 8月21日 | 8月例会・定時総会 | 実施 |
- (5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果
- 夏期講習の実施に伴い、例会開催日を8月21日に変更し、会場を上記場所に変更します。
- (6) 審議のポイント
- 日時・場所の変更について
- (7) 会議での意見とその対応
- 意見)
対応)
- (8) 他委員会への依頼事項等
- 開催日時・場所が変更となっておりますので、ご周知をよろしくお願ひします。
- (9) 添付資料

理事会

2011年 8月 8日

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案) 予算 (案)

審議 事項

事務局

理事セクレタリー：馬原 美晴

(1) 議案名 例会・総会の設営及び運営 事業計画 (案) 予算 (案) に関する件

(2) 事業名 8月例会・定時総会

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外)

b. (対内) 定款 第18条、19条、20条により定時総会を、正会員が一堂に集う8月例会で開催し、定款・運営規程の調査研究に関する件を審議し、2012年度(社)尾道青年会議所 理事長予定者の承認、監事・理事数を承認し、監事及び理事を選出する場としたい。

(4) 事業内容

a. 実施日時 2011年 8月21日(日) 10時00分～12時30分

b. 場 所 尾道ふれあいの里(尾道市御調町高尾1369)

c. 予算総額 ¥7,000(詳細は別紙予算書)

d. 参加人員 内部 95名 外部 名 計 名
(内部内訳：現役会員：86名・仮入会員 9名)

e. 動員計画

f. 外部協力者

g. 実施組織・推進リーダー セクレタリー 山本 邦人

h. 実施手順・プログラム

2011年 8月25日	第8回正副理事長会議	審議
8月 8日	第8回理事会	審議
8月21日	8月例会・定時総会	実施

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

一般社団法人への移行に伴う定款・運営規定の審議がございます。今後の運営に大きく関わる審議事項ですのでご出席を頂き、よく理解していただく必要があります。

(6) 審議のポイント

内容について

(7) 会議での意見とその対応

意見)

対応)

(8) 他委員会への依頼事項等

定款・運営規定の審議については、普段聞きなれない言葉などがあり、理解に時間が必要だと思えます。あらかじめメンバーの皆様にご説明をお願いいたします。

また、やむを得ず欠席される方には委任状の大切さや選挙の意義を説明の上、提出の促進をお願いいたします。

(9) 添付資料

事業収支予算書（案）

収支予算明細書（案）

8月例会次第（案）

8月総会次第（案）

2011年度 監事選挙被選挙人名簿

2011年度 理事選挙被選挙人名簿

例会出欠席一覧表（2010年8月～2011年7月例会終了時点）

理事会

2011年 8月 8日

事業収支予算書(案)

事業名 8月例会・定時総会

収入の部							
大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		7,000	7,000	0	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入				0	
	登録料収入					0	
	懇親会収入					0	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
補助金等収入	雑収入					0	
	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
寄付金収入	地方公共団体助成金収入					0	
	民間助成金収入					0	
	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
	収入合計			7,000	7,000	0	
支出の部							
大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出	7,000	7,000	0	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
		小計		7,000	7,000	0	
		企画演出費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			企画費支出			0	
			演出費支出			0	
		小計		0	0	0	
		本部関係費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			通信費支出			0	
			運送費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
		小計		0	0	0	
		講師関係費支出	食事代支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
			保険料支出			0	
諸謝金支出				0			
会合費支出				0			
小計		0	0	0			
広報費支出	運営費支出			0			
	会場費支出			0			
	設営費支出			0			
	通信費支出			0			
	消耗品費支出			0			
	レンタル料支出			0			
	作成費支出			0			
小計		0	0	0			
資料作成費支出	通信費支出			0			
	資料費支出			0			
	消耗品費支出			0			
	レンタル料支出			0			
小計		0	0	0			
報告書作成費支出	通信費支出			0			
	資料費支出			0			
	消耗品費支出			0			
	レンタル料支出			0			
	作成費支出			0			
	小計		0	0	0		
	懇親会費支出	人件費支出			0		
会場費支出				0			
設営費支出				0			
旅費交通費支出				0			
運送費支出				0			
レンタル料支出				0			
保険料支出				0			
飲食費支出				0			
小計		0	0	0			
渉外費支出	役員渉外費支出			0			
	記念品代支出			0			
小計		0	0	0			
旅費交通費支出	旅費支出			0			
	交通費支出			0			
小計		0	0	0			
参加記念品代支出				0			
保険料支出				0			
通信費支出				0			
販売物品仕入支出				0			
雑費支出				0			
事業予備費支出				0			
支出合計				7,000	7,000	0	

(社) 尾道青年会議所 8月例会次第 (案)

日 時：2011年 8月21日 (日)

10:00 ~ 12:30

場 所：尾道ふれあいの里

- | | |
|----------------------|-------|
| 1. 開 会 | 10:00 |
| 2. 点 鐘 | |
| 3. 国歌 並びに J C ソング斉唱 | |
| 4. J C I クリード唱和 | |
| 5. J C 宣言朗読 並びに 綱領唱和 | |
| 6. 紹介事項 | |
| 7. 配布資料の確認 | |
| 8. 理事長挨拶 | |
| 9. 定時総会 | 10:15 |
| 10. 報告・依頼事項 | 12:15 |
| ラッキーボックス | |
| ① 理事長報告 | |
| ② 委員会報告 | |
| ③ 出向者報告 | |
| ④ 同好会報告 | |
| ⑤ その他 | |
| 11. 連絡事項 | |
| 事務局連絡 | |
| 12. 直前理事長総評 | |
| 13. 閉 会 | |
| 14. 点 鐘 | 12:30 |

(社)尾道青年会議所 8月総会次第 (案)

(定款18条・19条・20条)

日時：2011年 8月21日 (日)

10:15 ~ 12:30

場所：尾道ふれあいの里

1. 開会
2. 議長選出
3. 定足数の確認
4. 議事録署名人並びに議事録作成者の指名
5. 議題の確認
6. 審議事項
 - 第1号議案 定款・運営規定の調査研究に関する件
 - 第2号議案 2012年度 理事長予定者 (案) に関する件
 - 第3号議案 2012年度 監事数並びに理事数 (案) に関する件
 - 第4号議案 その他
7. 監事選挙・理事選挙
 - 1) 監事選挙・理事選挙
 - 2) 監事選挙・理事選挙 開票
8. 監事選挙・理事選挙 結果発表
9. 監事講評
10. 閉会

2012年度 監事選挙投票用紙

2012年度監事被選挙人名簿（運営規定 第3章 第15条）

大村 芳弘	
黒飛 元晴	
谷前 秀樹	
永井 大貴	
中浜 聖登	

2012年度 理事選挙投票用紙

2012年度 理事被選挙人名簿（運営規定 第3章 第15条）

麻生 裕雄		榊原 靖貴		榎原 勝	
安部 昭一郎		高垣 利將		美ノ上 仁孝	
安楽城 大作		高橋 武也		村上 伸一	
池田 誠		高橋 司		村上 成司	
今川 智弘		田中 公浩		村上 忠正	
今中 雅浩		檀上 貴晴		村上 弘一	
馬原 美晴		辻 健志		森石 貴裕	
太田 雄介		西本 周一郎		安本 皇	
加度 亮平		沼田 邦博		山岡 稔季	
河井 茂		萩原 功		山根 浩揮	
川口 宗太朗		幡中 幹生		山本 邦人	
川原 浩太		濱中 貴一郎		山本 慎也	
河本 清順		本多 隆士		吉原 寿希	
小林 輝久		前田 光輝			

2010年度 8月～2011年度 7月 例会出席一覧表

上段 例会出欠 ○=出席 ×=欠席 ◎=メーカーキャップ
 下段 合同委員会出欠 ○=出席 ×=欠席

理事被選挙人候補
 監事被選挙人候補

委員会名	氏名	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	例会欠席回数	出席率		
理事長	手塚淳三	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	0	100%		
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
直前理事長	鍛冶川立章	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	0	100%	理事候補	
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
ブロック会員研修実行委員会 副理事長兼実行委員長	村上伸一	○	○	×	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	1	92%	理事候補	
		○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○				
	副理事長	村上弘一	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	0	100%	理事候補
			○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○			
専務理事	高橋武也	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	0	100%	理事候補	
		○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○				
事務局長	吉原寿希	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	0	100%	理事候補	
理事セクレタリー	馬原美晴	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	0	100%	理事候補	
セクレタリー	安楽城大作	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	0	100%	理事候補	
		○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○				
	高垣利将	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	3	73%	理事候補	
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
山本邦人	○	○	○	○	×	○	○	○	◎	○	○	○	○	1	92%	理事候補	
	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○				
ブロック会員研修実行委員会	黒飛元晴	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	0	100%	監事候補	
		○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○				
	佐藤敏章	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	0	100%		
		○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○				
	安部昭一郎	○	×	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	1	92%	理事候補	
		○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○				
	岡本正也	○	×	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	4	64%		
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	鍛冶川立章	/															
	川辺貴久	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	8	27%		
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
木村泰隆	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	8	27%			
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
桑田智也	×	○	○	○	×	○	×	◎	○	○	×	×	5	58%			
	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○					
本多隆士	○	○	○	○	○	×	○	◎	○	○	×	○	2	83%	理事候補		
	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○					
中田雅史	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	×	×	7	36%			
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
吉原敏兼	×	○	○	○	○	×	○	◎	○	×	×	○	4	67%			
	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○					

夢のまち創造委員会	坂本篤勇	○	○	○	○	○	×	○	◎	○	○	○	○	○	1	92%	
	永井大貴	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	0	100%	監事候補
	池田誠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	3	73%	理事候補
	井上美和	×	×	○	○	×	×	○	◎	○	○	×	○	○	5	58%	
	川口宗太郎	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	91%	理事候補
	濱中貴一郎	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	3	73%	理事候補
	増田泰志	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	0	100%	卒業予定者
	美ノ上仁孝	○	○	○	○	×	○	○	◎	○	○	○	○	○	1	92%	理事候補
	村上忠正	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	◎	○	3	73%	理事候補
	田中良幸	○	×	×	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	2	83%	
	平岡良之	×	×	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	7	36%	
社会開発委員会	檀上貴晴	○	○	○	×	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	1	92%	理事候補
	萩原功	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	1	91%	理事候補
	上田浩史	×	×	×	×	○	×	×	◎	○	×	×	×	×	9	25%	卒業予定者
	高橋大介	×	×	×	○	○	○	×	◎	○	×	○	×	○	6	50%	
	幡中幹生	○	○	○	○	○	○	×	◎	○	×	○	○	○	2	83%	理事候補
	細木豪	○	×	○	○	×	×	○	◎	○	○	○	○	×	4	67%	
	槇原勝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0	100%	理事候補
	村上成司	○	○	○	○	○	×	×	◎	○	○	○	○	×	3	75%	理事候補
	山本慎也	○	×	○	×	×	○	○	◎	○	○	○	○	○	3	75%	理事候補
	石森良	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	×	1	92%	
	武田大俊	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	3	73%	
尾道経済活性化委員会	小林輝久	○	×	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	1	92%	理事候補
	今中雅浩	○	○	×	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	1	92%	理事候補
	河本清順	○	○	○	○	○	×	○	◎	○	○	×	×	○	3	75%	理事候補
	田中公浩	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	0	100%	理事候補
	巻幡憲典	×	×	○	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×	6	45%	
	山岡稔季	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	3	73%	理事候補
	山根浩揮	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	3	73%	理事候補
	山本圭志	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	10	9%	卒業予定者
	井上智仁	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	6	45%	
	谷原康弘	×	×	×	○	×	×	○	◎	○	○	○	×	○	6	50%	

次代の宝育成委員会	西本周一郎	×	×	×	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	3	73%	理事候補
	大村芳弘	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	0	100%	監事候補
	麻生裕雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0	100%	理事候補
	岩井良典	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×	7	36%	
	榊原靖貴	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	◎	○	2	82%	理事候補
	沼田邦博	○	○	○	○	×	○	○	◎	○	○	×	○	2	83%	理事候補
	平林遵	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	7	36%	
	福田隆一	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	○	×	5	55%	
	三阪統之	×	×	○	○	○	×	○	◎	○	○	×	○	4	67%	卒業予定者
	宮坂勇磁	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	3	73%	
	徳永剛志	○	×	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	1	92%	
LOVELまなみ委員会	河井茂	○	○	×	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	1	92%	理事候補
	安本皇	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	0	100%	理事候補
	青山暢克	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×	4	64%	
	石井敬和	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	8	27%	
	岸上幸由	○	○	○	○	○	○	×	◎	○	○	○	○	1	92%	卒業予定者
	辻健志	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	0	100%	理事候補
	寺下弘記	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	×	×	6	45%	
	濱野光展	×	×	○	×	○	×	○	◎	○	○	×	×	6	50%	
	瀧本純郎	×	○	○	×	×	×	×	◎	○	○	×	○	6	50%	
	尾野公祐	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	0	100%	
PEACEおのみち委員会	片岡彰一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0	100%	
	中浜聖登	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	0	100%	監事候補
	今川智弘	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	3	73%	理事候補
	加度亮平	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	2	82%	理事候補
	太田雄介	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0	100%	理事候補
	前川佳洋	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	10	9%	卒業予定者
	前田光輝	○	○	○	○	○	○	×	◎	○	○	○	○	1	92%	理事候補
	森石貴裕	○	×	○	○	○	○	×	◎	○	○	○	×	3	75%	理事候補
	政成啓行	○	○	○	○	×	○	○	◎	○	○	○	○	1	92%	
	山脇将司	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	×	×	×	3	75%	

理事候補者数	42
監事候補者数	5
うち重複候補者数	0

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案) 予算 (案)

審議 事項

委員会名：事務局
専務理事：高橋 武也

(1) 議案名 定款・運営規程の調査研究について

(2) 事業名 一般社団法人化にむけての定款変更・申請

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外)

(対内) 2010年度(社)尾道青年会議所は一般社団法人化に向けての意思決定を行いました。本年度はそれを引き継ぎ実際に広島県に申請を行いたいと思います。その為に必要な、定款変更を行いたい。

(4) 事業内容

a. 実施日時 2011年8月21日(日)

b. 場 所 尾道ふれあいの里

c. 予算総額 ￥250,000- (詳細は別紙予算書)

d. 参加人員 内部86名 外部 名 計86名

(内部内訳：)

e. 動員計画

f. 外部協力者

g. 実施組織・推進リーダー 高橋 武也

h. 実施手順・プログラム

2011年6月27日	第7回正副理事長会議	協議
7月 6日	第7回理事会	協議
7月	第8回正副理事長会議	審議
8月 8日	第8回理事会	審議
8月21日	定時総会	審議

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

大きな変更による混乱を避けるため、一般社団法人化の為に必要な変更を除いて極力旧定款の内容を引き継ぎました。また、毎年1月例会の際に総会を行うことで、年末年始に事務局へ大きな負担がかかっている事と、新年宴会の前に慌ただしく総会を行う必要があることから定時総会の時期を2月と8月に変更しました。

(6) 審議のポイント

① 役員の任期

② 定時総会の時期

(7) 会議での意見とその対応

意見) 推進リーダーと予算の発生する業者が同一ということは問題がないのか

対応) 専門性の高い部分や県、法務局との折衝、書類の作成に関しては業者として山本君にお任せ

し、その他の部分は専務理事が対応することとし、推進リーダーも専務理事に変えて業務分担の透明性を図る事とします。

意見) 総会が2月ということですが、広島県の監査等の対応は大丈夫ですか。

対応) 広島県にも確認して、問題ない旨回答を頂いております。

(8) 他委員会への依頼事項等

今後は運営規程、庶務規程、経理規則等の変更も必要になってきます。そのために必要かつ重要な定款変更となりますので慎重にご検討いただき、忌憚のないご意見をお願い致します。

(9) 添付資料

事業収支予算書 (案)

収支予算明細書 (案)

新旧定款対照表 (案)

理事会 2011年 8月 8日

事業収支予算書(案)

事業名 一般社団法人化にむけての定款変更・申請

収入の部									
大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考		
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入				0			
	事業費繰入収入	事業費繰入収入			250,000	-250,000			
	登録料収入	登録料収入				0			
	懇親会収入	懇親会収入				0			
	販売収入	販売収入				0			
	広告料収入	広告料収入				0			
	負担金収入	負担金収入				0			
補助金等収入	雑収入	雑収入				0			
	国庫補助金収入	国庫補助金収入				0			
	地方公共団体補助金収入	地方公共団体補助金収入				0			
	民間補助金収入	民間補助金収入				0			
	国庫助成金収入	国庫助成金収入				0			
寄付金収入	地方公共団体助成金収入	地方公共団体助成金収入				0			
	民間助成金収入	民間助成金収入				0			
	寄付金収入	寄付金収入				0			
	募金収入	募金収入				0			
収入合計				0	250,000	-250,000			
支出の部									
大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考		
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0			
			食事代支出			0			
			会場費支出			0			
			設営費支出			0			
			運送費支出			0			
			レンタル料支出			0			
			小計		0	0	0		
		企画演出費支出	人件費支出				0		
			食事代支出				0		
			企画費支出				0		
			演出費支出				0		
			小計		0	0	0		
		本部関係費支出	人件費支出				0		
			食事代支出				0		
			会場費支出				0		
			設営費支出				0		
			旅費交通費支出				0		
			通信費支出				0		
			運送費支出				0		
			消耗品費支出				0		
			レンタル料支出				0		
			保険料支出				0		
			渉外費支出				0		
			小計		0	0	0		
		講師関係費支出	食事代支出				0		
			旅費交通費支出				0		
			宿泊費支出				0		
			保険料支出				0		
			諸謝金支出				0		
			小計		0	0	0		
		広報費支出	運営費支出				0		
			会場費支出				0		
			設営費支出				0		
			通信費支出				0		
			消耗品費支出				0		
			レンタル料支出				0		
			作成費支出				0		
			小計		0	0	0		
		資料作成費支出	通信費支出				0		
			資料費支出				0		
			消耗品費支出				0		
			レンタル料支出				0		
			小計		250,000	-250,000	-250,000		
		報告書作成費支出	通信費支出				0		
			資料費支出				0		
			消耗品費支出				0		
			レンタル料支出				0		
			小計		0	0	0		
		懇親会費支出	人件費支出				0		
			会場費支出				0		
			設営費支出				0		
			旅費交通費支出				0		
			運送費支出				0		
			レンタル料支出				0		
			保険料支出				0		
			飲食費支出				0		
			アトラクション費支出				0		
			小計		0	0	0		
		渉外費支出	役員渉外費支出				0		
			記念品代支出				0		
			小計		0	0	0		
		旅費交通費支出	旅費支出				0		
			交通費支出				0		
			小計		0	0	0		
		参加記念品代支出					0		
		保険料支出					0		
		通信費支出					0		
		販売物品仕入支出					0		
		雑費支出					0		
		事業予備費支出					0		
		支出合計				0	250,000	-250,000	

収支予算明細書(案)

事業名 一般社団法人化にむけての定款変更・申請

＜収入明細書＞

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備 考
事業費繰入収入	事業予備費繰入収入			250,000	
合 計				250,000	

＜支出明細書＞

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備 考	
事業費支出	資料作成費支出	作成費		250,000	山本邦人事務所	
	小 計				250,000	
	小 計				0	
	小 計				0	
	小 計				0	
事業予備費支出						
合 計				250,000		

第1章 総則

（名称）

第1条 本会は、一般社団法人尾道青年会議所（Onomichi Junior Chamber Incorporated）と称する。

（事務所）

第2条 本会は、主たる事務所を広島県尾道市に置く。

（目的）

第3条 本会は、会員の修練・奉仕・友情の信条のもと、人を育て地域社会と国家の健全な発展を目指し、資質の向上と啓発に努めるとともに国際的理解を深め世界の平和と繁栄に寄与することを目的とする。

（運営の原則）

第4条 本会は、特定の個人又は法人、その他の団体の利益を目的として、その事業を行わない。

2 本会は、これを特定の政党のために利用しない。

（事業）

第5条 本会は、第3条の目的達成のため次の事業を行う。

- （1）経済、社会、文化等に関する研究ならびにその改善発達に関する事業
- （2）社会奉仕事業および青少年問題に関する事業
- （3）国際青年会議所、社団法人日本青年会議所ならびに国内国外の青年会議所およびその他の諸団体と連携し、相互の理解と親善を増進する事業
- （4）会員の修練および相互の親睦に関する行事の開催
- （5）その他本会議所の目的を達成するために必要な事業

（公告）

第6条 本会の公告は、電子公告による。

- 2 やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、官報に掲載する方法による。

第2章 会 員

(会員の種別)

第7条 本会の会員は、次の2種とし、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下、「一般法」という。）上の社員とする。

(1) 正会員 尾道市及びその周辺の地域に住所又は勤務先を有する20歳以上40歳未満の品格ある青年で、理事会において入会を承認された者をいう。ただし、年度内に40歳に達した場合は、その事業年度の終了まで正会員としての資格を有する。

(2) 特別会員 40歳に達した年の事業年度末まで正会員であって、理事会で承認されたものをいう。

(入 会)

第8条 本会の正会員となろうとする者は、所定の入会申込書を理事長に提出し、理事会の承認を受けなければならない。

- 2 このほか入会に関する事項は、規則に定める。

(会員の権利)

第9条 正会員は、本定款に定めるもののほか、本会の目的達成に必要なすべての事業に参加する権利を平等に享有する。

- 2 特別会員については別に定める。

(会員の義務)

第10条 会員は、定款その他の規則を遵守し、本会の目的達成に必要な義務を負う。

- 2 正会員は、入会に際し総会において定める入会金を納入しなければならない。

(退 会)

第11条 会員は、理事会において別に定める退社届（以下、「退会届」という。）を提出することにより、任意にいつでも退社（以下、「退会」という。）することができる。ただし、その事業年度の会費を納入しておかなければならない。

2 会員の退会は理事会に報告しなければならない。

（資格の喪失）

第12条 会員が次の各号の一に該当するときは、その資格を失う。

（1）退会したとき

（2）成年被後見人又は被保佐人になったとき

（3）死亡又は失踪宣告を受けたとき

（4）除名されたとき

（5）会費を納入せず、督促後なお会費を3ヵ月以上納入しないとき

（6）総正会員が同意したとき

（除 名）

第13条 正会員が、次の各号の一に該当するときは、総会において、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上の議決を得て、その正会員を除名することができる。

（1）本会の名誉を棄損し、又は本会の目的遂行に反する行為をしたとき

（2）本会の秩序を著しく乱す行為をしたとき

（3）その他、正会員として適当でないと認められたとき

2 前項の規定により正会員を除名しようとするときは、その会員に総会の1週間前までに、理由を付して除名をする旨の通知をし、除名の決議を行う総会において、弁明の機会を与えなければならない。

3 特別会員が第1項各号の一に該当するときは、理事会の決議により、当該会員を除名することができる。

4 除名が決議されたときは、その会員に対し通知するものとする。

（休 会）

第14条 正会員がやむを得ない事由により長期間各種会議，行事に出席できないときは，別に定める休会届を理事長に提出し理事会の承認を得て，休会することができる。

(会員資格喪失に伴う権利及び義務)

第15条 会員が第12条の規定によりその資格を喪失したときは，本会に対する会員としての権利を失い，義務を免れる。ただし，未履行の義務は，これを免れることはできない。

2 本会は，会員がその資格を喪失しても，既納の入会金，会費及びその他の拠出金品は，これを返還しない。

第3章 役員等

(役員)

第16条 本会に次の役員を置く。

- (1) 理事長 1名以上2名以内
- (2) 副理事長 2名以上10名以内
- (3) 専務理事 1名以上2名以内
- (4) 理事(前3号の理事を含む。) 20名以上60名以内
- (5) 監事 2名以上6名以内

(選任等)

第17条 理事及び監事は，総会においてこれを選任する。

- 2 理事は，正会員のうちから選任する。
- 3 理事長，副理事長及び専務理事は理事会の決議によって理事の中から選定する。
- 4 監事は，本会の理事及び若しくは使用人を兼ねることができない。
- 5 その他，役員を選任に関して必要な事項は，規則に定める。

(理事の職務・権限)

第18条 理事は，理事会を構成し，本定款の定めるところにより本会の業務の執

行を決定する。

- 2 理事長は、一般社団法人・財団法人法上の代表理事とし、業務を統括する。
- 3 副理事長及び専務理事は、一般社団法人・財団法人法上の業務執行理事とし、業務を分担執行する。
- 4 理事長、副理事長及び専務理事は、毎事業年度毎に4カ月を超える間隔で2回以上、自己の職務執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第19条 監事は、次に掲げる職務を行う。

- (1) 理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成すること。
- (2) 理事及び使用人に対して事業の報告を求め、又は本会の業務及び財産の状況を調査すること。
- (3) 各事業年度に係る計算書類及び事業報告等を監査すること。
- (4) 理事が不正の行為をし、若しくは当該行為をするおそれがあると認めるとき、又は法令若しくは定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、遅滞なくその旨を理事会に報告すること。
- (5) 理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べること。
- (6) 総会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べること。
- (7) 必要があると認めるときは、理事長に対し、理事会の招集を請求すること。
- (8) 前号の規定による請求があった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集通知を発せられない場合は、その請求をした監事が、理事会を招集すること。
- (9) 理事が総会に提出しようとする議案、書類その他電磁的記録その他の資料を調査すること。この場合において、法令若しくは定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査の結果を総会に報告すること。
- (10) 理事が本会の目的の範囲外の行為その他法令若しくは定款に違反する行為

をし、又はこれらの行為をする恐れがある場合において、当該行為によって本会に著しい損害が生ずる恐れがあるときは、当該理事に対し、当該行為をやめることを請求すること。

(任期)

第20条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する最終の事業年度に関する定時社員総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

2 理事は、辞任又は任期満了の場合においても、新たに選任されたものが就任するまで、なお理事としての権利義務を有する。

3 監事の任期は選任後2年以内に終了する最終の事業年度に関する定時社員総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

4 任期満了前に退任した監事の補欠として選任された監事の任期は、退任した監事の任期が満了する時までとする。

5 監事は、辞任又は任期満了の場合においても、後任者が就任するまで、なお監事としての権利義務を有する。

(辞任及び解任)

第21条 役員は、辞任することができる。

2 役員は、総会の決議によって解任することができる。

3 監事を解任する場合は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上の議決に基づいて行わなければならない。

(直前理事長等)

第22条 本会に、任意の機関として直前理事長及び顧問（以下、「直前理事長等」という。）を置くことができる。

2 直前理事長等は、次の職務を行う。

(1) 理事長の相談に応じること

(2) 直前理事長等は、理事会の諮問に応じ、又は意見を述べることができる。

3 直前理事長等の選任及び解任は、理事会において決議する。

4 直前理事長は、前年度理事長がこれにあたり、直前理事長等の任期、辞任及び解任は第20条及び21条の規定を準用する。

(報酬等)

第23条 役員は無報酬とする。ただし、常勤の役員には別に定める役員等の報酬規定にしたがって算定した額を報酬等として支給することができる。

2 前項に関し必要な事項は、総会の決議により別に定める。

(取引の制限)

第24条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。

(1) 自己又は第三者のためにする本会の事業の部類に属する取引

(2) 自己又は第三者のためにする本会との取引

(3) この法人がその理事の債務を保証することその他理事以外の者との間における本会とその理事との利益が相反する取引

2 前項の取引をした理事は、その取引の重要な事実を遅滞なく、理事会に報告しなければならない。

3 前2項の取り扱いについては第47条に定める理事会の規則によるものとする。

第4章 総会

(種類)

第25条 本会の総会は、定時総会（以下、「通常総会」という。）及び臨時総会の2種とする。

2 毎年2月に開催される通常総会をもって一般社団・財団法人法上の定時社員総会とする。

(構成)

第26条 総会は、全ての正会員をもって構成する。

(権限)

第27条 総会は、一般社団・財団法人法に規定する事項並びに本定款に別に定めるもののほか、次の事項を決議する。

- (1) 役員を選任及び解任
 - (2) 役員報酬の額又はその規程
 - (3) 定款の変更
 - (4) 各事業年度の事業報告及び決算の承認
 - (5) 本会の解散及び残余財産の処分方法
 - (6) 次に掲げる規則の制定、変更及び廃止
 - ①役員選任の方法に関する規則
 - ②会員資格に関する規則
 - ③会費及び入会金に関する規則
 - (7) 会員の除名
 - (8) 長期借入金並びに重要な財産の処分及び譲受
 - (9) 合併、事業の全部若しくは一部の譲渡
- (開 催)

第28条 通常総会は、毎年1回開催する。

2 臨時総会は、次に掲げる場合に開催する。

- (1) 理事会が決議したとき
 - (2) 議決権の10分の1以上を有する正会員から、会議の目的たる事項及び招集の理由を記載した書面により開催の請求が理事会にあったとき
- (招 集)

第29条 総会は、前条第2項第2号の場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。ただし、全ての正会員の同意がある場合には、その招集手続を省略することができる。

2 前条第2項第2号の場合を除き、総会を招集する場合は、次に掲げる事項の決定は、理事会の決議によらなければならない。

- (1) 総会の日時及び場所
- (2) 総会の目的である事項があるときは、当該事項
- (3) 総会に出席しない正会員が書面によって議決権を行使することができることとするときは、その旨
- (4) 総会に出席しない正会員が電磁的方法によって議決権を行使することができることとするときは、その旨
- (5) 前各号に掲げるもののほか法務省令で定める事項

3 理事長は、前条第2項第2号の規定による請求があった時は、その日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。

4 総会を招集する場合には、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面により、開催日の1週間前までに正会員に通知しなければならない。ただし、総会に出席しない正会員が書面により議決権を行使することができることとするときは、2週間前までに通知しなければならない。

5 理事長は、あらかじめ正会員の承諾を得たときは、当該正会員に対し、前項の書面による通知の発出に代えて、電磁的方法により通知を発することができる。

(議 長)

第30条 総会の議長は、理事長若しくは正会員のうち理事長の指名した者がこれにあたる。ただし、第28条第2項第2号に基づき臨時総会を開催した場合は、出席正会員のうちからこれを選出する。

(定足数)

第31条 総会は、総正会員の2分の1以上の出席をもって成立する。ただし、休会中の会員は現在数及び定足数に算入しない。

(議 決)

第32条 総会の議事は、一般社団・財団法人法第49条第2項及び本定款に特に規定するものを除き、出席した正会員の議決権の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

- 2 前項の場合において、議長は正会員として議決に加わることができない。
- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第15条に定める定足数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定款の枠に達するまでの者を選任することができる。

(書面による議決権の行使等)

第33条 やむを得ない理由により総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面または電磁的方法により議決権を行使し、又は法令の定めるところにより他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができる。

- 2 前項の場合において、第31条及び第32条第1項の規定の適用については、その正会員は出席したものとみなす。
- 3 理事又は正会員が、総会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について正会員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の総会の決議があったものとみなす。

(議決権)

第34条 総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

(議事録)

第35条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議事録には、議長、理事長及び正会員のうちから選任された議事録署名人2人が署名押印しなければならない。

(総会規則)

第36条 総会の運営に関して必要な事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、総会において定める総会規則による。

(構成)

第37条 本会に理事会を置く。

2 理事会は全ての理事をもって構成する。

(権限)

第38条 理事会は、本定款に別に定めるもののほか、次の各号の職務を行う。

(1) 理事長、副理事長及び専務理事の選定及び解職。ただし、理事長の選出にあたっては、総会の決議により理事長候補者を選出し、理事会において当該候補者を選定する方法によることができる。

(2) 総会の日時及び場所並びに目的である事項の決定

(3) 規則の制定、変更及び廃止に関する事項

(4) 前各号に定めるもののほか本会の業務執行の決定

(5) 理事の職務の執行の監督

2 理事会は次に掲げる事項その他の重要な業務執行の決定を理事に委任することはできない。

(1) 重要な財産の処分及び譲受

(2) 多額の借財

(3) 重要な使用人の選任及び解任

(4) 従たる事務所その他重要な組織の設置、変更及び廃止

(5) 内部管理体制の整備（理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他本会の業務の適正を確保するために必要な法令で定める体制の整備）

(種類及び開催)

第39条 理事会は通常理事会及び臨時理事会の2種とする。

2 通常理事会は毎事業年度12回以上開催する。

3 臨時理事会は次の各号の一に該当する場合に開催する。

(1) 理事長が必要と認めたとき

(2) 理事長以外の理事から会議の目的である事項を記載した書面をもって理事長に招集の請求があったとき

(3) 前号の請求があった日から5日以内に、その日から2週間以内の日を理事会とする理事会の招集通知が発せられない場合に、その請求をした理事が招集したとき

(4) 第19条第7号の規定により、監事から理事長に招集の請求があったとき、又は監事が招集したとき

(招 集)

第40条 理事会は、理事長が招集する。ただし、前条第3項第3号により理事が招集する場合及び前条第3項第4号後段により監事が招集した場合を除く。

2 理事長は、前条第3項第2号又は第4号前段に該当する場合は、5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする臨時理事会を招集しなければならない。

3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面をもって、開催日の5日前までに各理事及び各監事に対し通知しなければならない。

4 前項の規定にかかわらず、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集の手続きを経ることなく理事会を開催することができる。

(議 長)

第41条 理事会の議長は、理事長若しくは理事長の指名した者がこれにあたる。ただし、理事長を選任する場合に限り、理事の互選により議長を選任する。

(定足数)

第42条 理事会は、議決に加わることのできる理事の2分の1以上の出席をもって成立する。

(議 決)

第43条 理事会の議事は、本定款に別段の定めがあるもののほか、出席した理事

の過半数を持って決する。ただし、可否同数のときは議長の決するところによる。

- 2 前項の場合において、議長は理事として議決に加わることができない。
- 3 第1項の決議について特別の利害関係を有する理事は、議決に加わることができない。

(決議の省略)

第44条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について議決に加わることのできる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議を述べたときは、この限りではない。

(報告の省略)

第45条 理事若しくは監事が理事及び監事の全員に対し、理事会に報告すべき事項を通知した場合においては、その事項を理事会に報告することを要しない。

- 2 前項の規定は、第18条第6項の規定による報告には適用しない。

(議事録)

第46条 理事会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、議事録が書面をもって作成されているときは出席した理事及び監事は、これに署名または記名押印しなければならない。

- 2 前項の議事録が電磁的記録をもって作成されている場合は、当該電磁的記録に記録された事項については、法務省令で定める署名又は記名押印に代わる措置をとらなければならない。

(理事会規則)

第47条 理事会の運営に関して必要な事項は、法令又は本定款に定めるもののほか、理事会において定める理事会規則による。

第6章 例会及び委員会

(例会)

第48条 本会は、毎月1回以上（年12回以上）例会を開催する。

2 例会の運営については、理事会の議決により定める。

（委員会）

第49条 本会は、目的達成に必要な事項を調査、研究、審議し、又は実施するために委員会を置く。

2 委員会は、委員長、副委員長、幹事及び委員をもって構成する。

3 委員長及び副委員長は、正会員のうちから理事長が理事会の承認を得て委嘱する。

4 正会員は、理事長、副理事長、専務理事、監事及び直前理事長等を除き、原則として全員がいずれかの委員会に所属しなければならない。

5 委員会の議事録については、第46条第2項を準用する。

第7章 基金

（基金の拠出）

第50条 本会は、会員又は第三者に対し、一般社団・財団法人法第131条に規定する基金の拠出を求めることができるものとする。

（基金の取り扱い）

第51条 基金の募集、割当て、払込等の手続、基金の管理及び基金の返還等の取り扱いについては、理事会の決議により定める「基金管理規定」によるものとする。

（基金拠出者の権利）

第52条 本会は、第66条による解散のときまで基金をその拠出者に返還しないものとする。

2 前項の規定にかかわらず本会は、次条に定める基金の返還手続きにより、基金をその拠出者に返還できるものとする。

3 本会に対する基金の拠出者の権利については、他人に譲渡並びに質入及び信託

することはできないものとする。

(基金の返還の手続)

第53条 基金の返還は、定時総会の決議に基づき、一般社団・財団法人法第141条に規定する限度額の範囲内で行うものとする。

2 前条第2項の基金の返還手続については理事会の決議により定めるものとする。

(代替基金の積立)

第54条 基金の返還を行うため、返還される基金に相当する金額を代替基金として積み立てるものとし、その代替基金については取り崩しを行わないものとする。

第8章 財産及び会計

(特定財産の維持及び処分)

第55条 (削除)

3 特定財産の維持及び処分について必要な事項は、理事会の議決により定める。

(財産の管理・運用)

第56条 本会の財産の管理・運用は、理事長が行うものとし、その方法は、理事会の決議により別に定めるところによる。

(事業年度)

第57条 本会の事業年度は、毎年1月1日に始まり、同年12月31日に終わる。

(会計原則並びに区分)

第58条 本会の会計は、その行う事業に応じて、一般に公正妥当と認められる会計の慣行に従うものとする。

(事業計画及び収支予算)

第59条 本会の事業計画書及び収支予算書については、毎事業年度開始日の前日までに理事長が作成し、理事会の承認を得るものとする。これを変更する場合も同様とする。

2 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由のために、予算が成立しない場合は、理事会の議決に基づき、予算成立の日まで前年度の予算に準じて総会までの収入及び支出とすることができる。

3 前項の収入及び支出は、新たに成立した予算の収入及び支出とみなす。

4 第1項の事業計画書及び収支予算書等については、毎事業年度の開始の日の前日までに行政庁に提出しなければならない。(※削除)

5 第1項の事業計画書及び収支予算書等については、主たる事務所に当該年度が終了するまでの間備え置くものとする。

(事業報告及び決算)

第60条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が事業報告及び計算書類並びにこれらの附属明細書（以下、「計算書類等」という。）を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経て通常総会において承認を得るものとする。

2 本会は、第1項の通常総会の終結後直ちに、法令の定めるところにより、貸借対照表を公告するものとする。

(長期借入金及び重要な財産の処分又は譲受)

第61条 本会が資金の借入れをしようとするときは、その事業年度の収入を持って償還する短期借入金を除き、総会において総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上の議決を得なければならない。

2 本会が重要な財産の処分又は譲受を行おうとするときも、前項と同じ議決を得なければならない。

第9章 管理

(事務局)

第62条 本会の事務を処理するため、事務局を設置する。

2 事務局には所要の職員を置くことができる。

3 事務局の職員は、理事長が理事会の承認を得て任免する。

4 事務局の組織及び運営に関して必要な事項は、理事長が理事会の決議により別に定める。

(備え付け帳簿及び書類)

第63条 主たる事務所には、常に次に掲げる帳簿及び書類を備えておかなければならない。

(1) 定款その他諸規則

(2) 会員名簿及び会員の異動に関する書類

(3) 理事、監事の名簿

(4) 認定、認可等及び登記に関する書類

(5) 定款に定める理事会及び総会の議事に関する書類

(6) 財産目録 (※削除)

(7) 役員の報酬規程

(8) 事業計画書及び収支予算書

(9) 事業報告及び計算書類等

(10) 監査報告

(11) その他法令で定める帳簿及び書類

2 第1項各号の帳簿及び書類を主たる事務所に5年間備え置くものとする。

第10章 定款の変更、合併及び解散

(定款の変更)

第64条 この定款は、総会において総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上の議決により変更することができる。

(合併等)

第65条 本会は、総会において総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上の議決により、他の一般社団・財団法人法上の法人との合併、事

業の全部または一部の譲渡をすることができる。

2 前項の行為をしようとするときは、あらかじめその旨を行政庁に届けなければならない。(※削除)

(解 散)

第66条 本会は一般社団・財団法人法第148条第1号及び第2号並びに第4号ないし第7号までに規定する事由によるほか、総会において総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の4分の3以上の議決により解散することができる。

(残余財産の処分)

第67条 本会が解散等により清算するときに有する残余財産は、総会の決議により、本会等と類似の事業を目的とする他の公益法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(清算人)

第68条 本会の解散に際しては、清算人を総会において選任する。

(解散後の会費の徴収)

第69条 本会は、解散後においても清算完了の日までは、総会の議決を経てその債務を弁済するに必要な限度内の会費を解散の日現在の会員より徴収することができる。

第12章 補 則

(委 任)

第70条 本定款に別に定めるもののほか、本会の運営に必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

附 則

1 本定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律および公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する

法律第106条第1項に定める一般社団法人の設立の登記の日から施行する。

2 本会の設立当初の役員は、第16条第1項の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによるものとし、その任期は第19条第1項及び第2項の規定にかかわらず、平成23年12月31日までとする。(※削除)

3 本会の設立初年度の事業計画及び予算は、第60条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによる。(※削除)

4 本会の設立初年度の事業年度は、第57条の規定にかかわらず、平成 年 月 日から平成23年12月31日までとする。(※削除)

5 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、一般社団法人の設立を行ったときは、第57条の規定にかかわらず、解散の登記の日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

6 最初の代表理事及び業務執行理事は次のとおりとする。

・・・

※下線部分は、県の指摘により削除した部分です。

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案) 予算 (案)

審議 事項

委員会名：ブロック会員研修実行委員会
副実行委員長名：黒飛 元晴

(1) 議案名 新理事研修の調査・研究・実践 事業計画 (案) 予算 (案) について

(2) 事業名 新理事研修 テーマ「魅力～リーダーとして～」

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外)

b. (対内)

新年度の理事が選出され、新しい年度の青年会議所活動が、スタートとします。来年度は、また、記念すべき55周年にもあたる年でもあります。そこで、第51代理事長を勤められ、50周年の理事長で、尾道青年会議所のトップとして、ご活躍された平裕一先輩をお呼びし、第51代理事長として、所信に掲げられた「魅力」をテーマとしてご講演頂きます。50周年記念事業という尾道青年会議所の歴史的節目に理事長と言う立場を経験され、リーダーとしてどのように魅力を発揮し、尾道青年会議所で、自分がどのように魅力的に成長されたか、ご講演頂くことで、新理事の方はもちろん理事経験者に対しても次年度、記念すべき周年に理事になるにあたり自覚と意識の向上を図って頂き、「明るい豊かなまちづくり」の実現に繋げて頂けると考えます。

(4) 事業内容

a. 実施日時 2011年 8月 24日 (水) 19:00～22:50

b. 場 所 グリーンヒルホテル尾道

c. 予算総額 〃 (詳細は別紙予算書)

d. 参加人員 内部 50名 外部 1名 計 51名

内部内訳:

2011年度 理事長1名、直前理事長1名、監事2名、副理事長兼実行委員長1名、副理事長3名、専務理事1名、事務局長1名、理事セクレタリー1名、セクレタリー4名、ブロック会員研修実行委員会10名

2012年度 理事長予定者1名、監事2名(予定)、理事候補者22名(予定)

e. 動員計画

f. 外部協力者 平 裕一 先輩

g. 実施組織・推進リーダー ブロック会員研修実行委員会 副実行委員長 佐藤 敏章
委員 吉原 敏兼

h. 実施手順・プログラム

2011年	6月27日(月)	第7回正副理事長会議	協議
	7月6日(水)	第7回理事会	協議
	7月25日(月)	第8回正副理事長会議	審議
	8月8日(月)	第8回理事会	審議
	8月24日(水)	新理事研修	実施

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

来年度は記念すべき55周年となります。記念すべき50周年事業を理事長としてトップで体験された平先輩をお呼びし、平先輩の所信「魅力」をテーマにご講演頂くことで、来年度の理事の皆様大変参考になると考えます。

第二次研修では、グループディスカッションを行い新理事・理事経験者をそれぞれグループ分けさせて頂き、理事経験者の方が、新理事の方に理事経験者の経験談もお話頂く事で、新理事の方だけでなく理事経験者に対しても、自覚と意識の向上を図って頂く事が、出来ると考えます。そして、懇親会で、次年度理事予定者の皆様で懇親を深めて頂き、そこで新理事予定者にディスカッションの発表をして頂く事で理事としての意識と向上を図って頂き周年を迎える理事候補者全員で思いを共有し、気運と団結を高める事が出来ると考えます。

また、次年度新理事予定者に事前にお題をお配りする事で、理事選挙終了後より、理事としての自覚と意識の向上を図って頂けると考えます。

(6) 審議のポイント

内容・予算について

(7) 会議での意見とその対応

意見) 委員長としての思いをもっと詳しく説明して欲しい。

対応) 事業目的・過去の検証・本年の工夫と期待される効果を作り直しました。ご確認ください。

(8) 他委員会への依頼事項等

理事選挙直後の開催となりますので各委員長の皆様におかれましては、理事候補の方々に事前に周知徹底し、日程調整の上、対象者は出席義務があり、次年度の理事構成メンバーとしての初顔合わせの大切な場所でもあります。必ず全員出席になるようにお声かけをお願い致します。

(9) 添付資料

事業収支予算書 (案)

収支予算明細書 (案)

新理事研修プログラム (案)

講師プロフィール (参考資料)

新理事研修記録用紙その1 (参考資料)

新理事研修記録用紙その2 (参考資料)

会場図 (参考資料)

理事会 2011年 8月 8日

事業収支予算書(案)

事業名 新理事研修

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考	
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		50,000	-50,000		
			事業費繰入収入		10,000	-10,000		
			登録料収入					
			懇親会収入		250,000	-250,000		
			販売収入				0	
			広告料収入				0	
			負担金収入				0	
補助金等収入	国庫補助金収入	国庫補助金収入	国庫補助金収入			0		
			地方公共団体補助金収入			0		
			民間補助金収入			0		
			国庫助成金収入			0		
			地方公共団体助成金収入			0		
			民間助成金収入			0		
寄付金収入	寄付金収入	寄付金収入	寄付金収入			0		
			募金収入			0		
収入合計				0	310,000	-310,000		

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考			
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0				
			食事代支出			0				
			会場費支出		34,650	-34,650				
			設営費支出		7,350	-7,350				
			運送費支出			0				
			レンタル料支出			0				
		小計				0	42,000	-42,000		
		企画演出費支出	企画演出費支出	企画演出費支出	人件費支出			0		
					食事代支出			0		
					企画費支出			0		
					演出費支出			0		
					旅費交通費支出			0		
					旅費交通費支出			0		
		小計				0	0	0		
		本部関係費支出	本部関係費支出	本部関係費支出	人件費支出			0		
					食事代支出			0		
					会場費支出			0		
					設営費支出			0		
					旅費交通費支出			0		
					通信費支出			0		
					運送費支出			0		
					消耗品費支出			0		
					レンタル料支出			0		
					保険料支出			0		
					渉外費支出			0		
					小計				0	0
		講師関係費支出	講師関係費支出	講師関係費支出	食事代支出		5,173	-5,173		
					旅費交通費支出			0		
					宿泊費支出			0		
					保険料支出			0		
					諸謝金支出		0	11,111	-11,111	
					会合費支出			0		
		小計					16,284	-16,284		
		広報費支出	広報費支出	広報費支出	運営費支出			0		
					会場費支出			0		
					設営費支出			0		
					通信費支出			0		
					消耗品費支出			0		
					レンタル料支出			0		
					作成費支出			0		
					PR費支出			0		
		小計				0	0	0		
		資料作成費支出	資料作成費支出	資料作成費支出	通信費支出			0		
					資料費支出		250	-250		
					消耗品費支出			0		
					レンタル料支出			0		
		小計				0	250	-250		
		報告書作成費支出	報告書作成費支出	報告書作成費支出	通信費支出			0		
					資料費支出			0		
					消耗品費支出			0		
					レンタル料支出			0		
		小計				0	0	0		
		懇親会費支出	懇親会費支出	懇親会費支出	人件費支出			0		
					会場費支出			0		
					設営費支出			0		
					旅費交通費支出			0		
					運送費支出			0		
					レンタル料支出			0		
					保険料支出			0		
					飲食費支出		250,000	-250,000		
		小計				0	250,000	-250,000		
		渉外費支出	渉外費支出	渉外費支出	役員渉外費支出			0		
					記念品代支出			0		
		小計				0	0	0		
		旅費交通費支出	旅費交通費支出	旅費交通費支出	旅費支出			0		
					交通費支出			0		
		小計				0	0	0		
		参加記念品代支出	参加記念品代支出	参加記念品代支出	参加記念品代支出		0	0		
					保険料支出		0	0		
					通信費支出		0	0		
					販売物品仕入支出		0	0		
					雑費支出		0	0		
		事業予備費支出					1,466	-1,466		
		支出合計				0	310,000	-310,000		

収支予算明細書(案)

事業名 新理事研修
 <収入明細書>

中科目	小科目	細目	摘要	予算額	備考
一般会計繰入収	委員会事業費			50,000	
一般会計繰入収	事業予備費繰入収入			10,000	
懇親会収入			5,000×50名	250,000	
合 計				310,000	

<支出明細書>

中科目	小科目	細目	摘要	予算額	備考	
事業費支出	会場設営費支出	設営費支出	会場費支出	34,650	グリーンヒルホテル尾道	
	会場設営費支出	設営費支出	看板代	7,350	(有)メディアジャンクション	
	小 計				42,000	
	講師関係費支出	食事代支出	懇親会飲食費	5,000	グリーンヒルホテル尾道	
	講師関係費支出	食事代支出	ペットボトル1本	173	グリーンヒルホテル尾道	
	講師関係費支出	謝礼金支出		11,111	平裕一氏	
	小 計				16,284	
	資料作成費支出	資料作成費	1円×250	250	事務局	
	小 計				250	
	懇親会費支出	飲食代支出	5,000円×50名	250,000	グリーンヒルホテル尾道	
	小 計				250,000	
	小 計				0	
	参加記念品代支出					
	保険料支出					
	通信費支出					
	販売物品仕入支出					
	雑費支出					
	事業予備費支出				1,466	
	合 計				310,000	

新理事研修プログラム(案)

- 18 : 30 受付
- 19 : 00 開会
点鐘
国歌並びに J C ソング斉唱
JCI クリード唱和
J C 宣言朗読並びに綱領唱和
理事長挨拶
副実行委員長趣旨説明
- 19 : 15 講演 講師 平 裕一 先輩 第 1 研修
「魅力～青年会議所のリーダーとはどうあるべきか?～」
- 20 : 10 質疑応答
- 20 : 15 副理事長兼実行委員長謝辞
- 20 : 20 休憩・会場移動
- 20 : 30 第 2 研修 グループディスカッション
「理想のリーダーとは、どうあるべきか?」
平先輩の講演内容も含み話しあって頂きます。また、コーディネーターとして、ブロック会員研修実行委員会委員会メンバーが司会をさせて頂きます。委員会メンバーで理事予定者となられる場合はそのテーブルの司会をさせて頂きます。
監事予定者の方は、グループに加わり理事予定者の方と次年度、監事という立場になられる為参加して頂く設えとさせて頂きます。
* 平先輩・理事長・直前理事長・理事長予定者はオブザーバー
(平先輩・理事長・直前理事長・理事長予定者は、各テーブルを周って意見に耳を傾けて頂く)

21 : 00 会場設営

21 : 05 第3次研修 懇親会及び発表

グループディスカッション発表

- ・グループディスカッションで話し合われた内容を新理事予定者の方に発表頂きます。その際、感想および事前配布させて頂いた内容も含み発表して頂きます。

22 : 20 平先輩総評

22 : 25 直前理事長総評

22 : 30 閉会

講師プロフィール

平 裕一 (たいら ゆういち) 先輩

- 【生年月日】 昭和43年 4月 4日
- 【血液型】 B型
- 【職業】 (株)堀田クロス 代表取締役
- 【入会年度】 平成7年入会
- 【在籍年数】 13年

	LOM歴	出向歴
平成7年	会員開発室 会員交流委員会 委員	
平成8年	政策室 まちづくり推進委員会 委員	
平成9年	政策室 40周年実行委員会 委員	
平成10年	総務室 地区フォーラム運営特別委員会 委員	中国地区協議会 地区フォーラム実行委員会 幹事
平成11年	理事セクレタリー	
平成12年	会員室 会員交流委員会 委員長	
平成13年	終(つい)の住みか創造室 地域主権推進委員会 委員	広島ブロック協議会 コミュニティ部門 広域合併推進委員会 委員
平成14年	未来づくり室 我家の価値観創造委員会 副委員長	
平成15年	魅力あるJC創造会議 副議長	
平成16年	誇りあるまち創造室 次代の宝育成委員会 委員	広島ブロック協議会 地球の環創造部門 次世代育成委員会 委員
平成17年	専務理事	
平成18年	会員開発室 副理事長	
平成19年	理事長	びんご連邦理事長会議
平成20年	直前理事長 総務室 拡大研修委員会 委員	

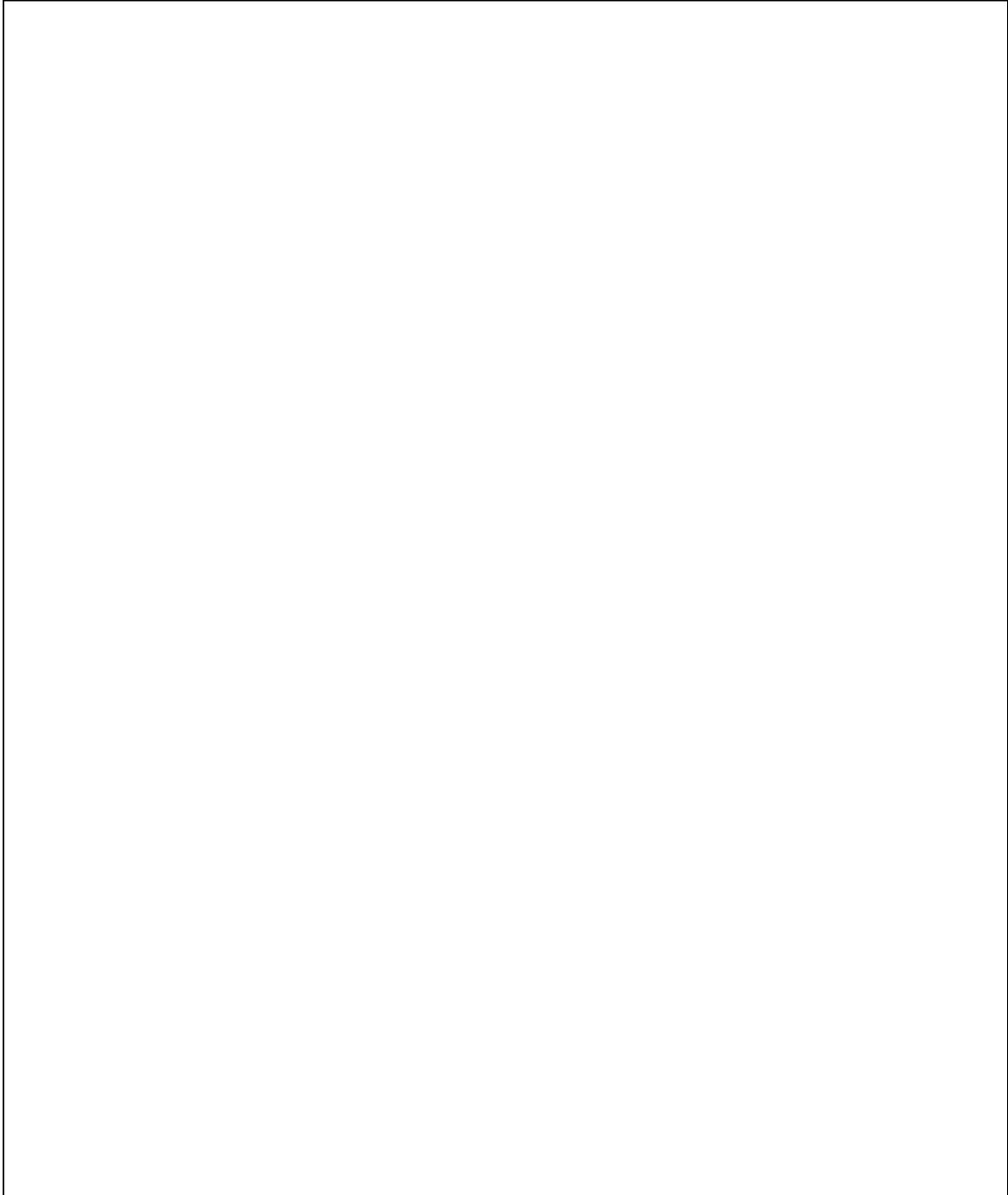
新理事研修記録用紙

1、青年会議所のリーダーとしてどうあるべきか？

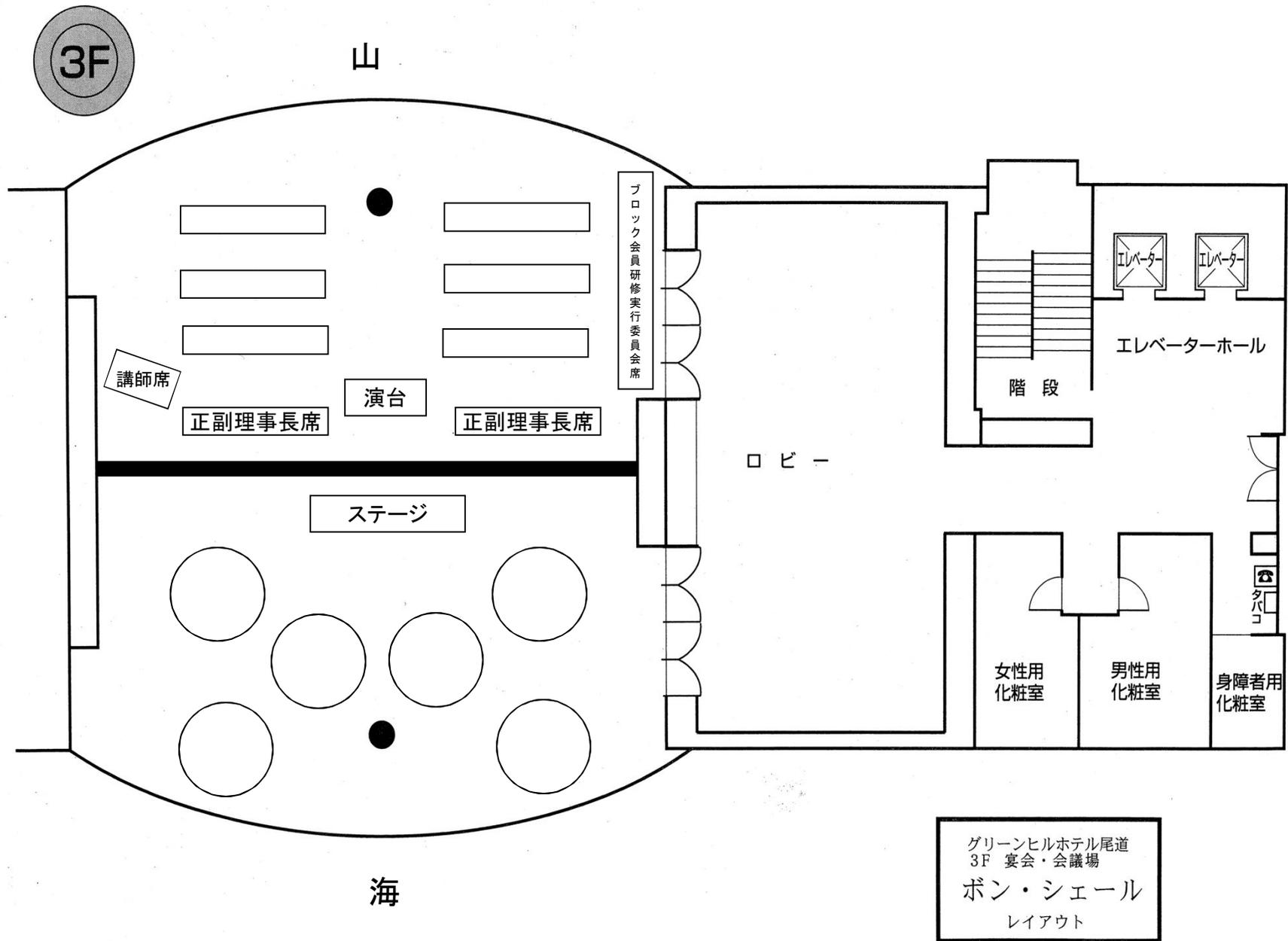
新理事研修記録用紙

第2研修

理想のリーダーとは、どうあるべきか？



新理事研修会場レイアウト(参考資料)



(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案) 予算 (案)

審議 事項

委員会名：LOVEしまなみ委員会

委員長名：河井 茂

(1) 議案名 しまなみ海道の魅力調査・研究の実践 事業計画 (案) 予算 (案) に関する件

(2) 事業名 しまなみ音楽フェス ～絆～

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外)

しまなみ海道、尾道—今治ルートが開通して12年目となる現在、尾道から今治までの町や島々の交流はより盛んになり、芸術・文化交流としてもつながりが深くなっていると感じます。そんな中、新たな魅力の発信として音楽という芸術・文化でしまなみ海道を県内はもちろん、全国に発信できたらと考えます。音楽の力には人に与える影響力や人に伝える力、心に訴えるものがあり、歌い手と聞き手が同じ空間を共有でき楽しめる魅力があると考えます。音楽を通じてしまなみ海道沿線の人と人の絆を、そしてしまなみ海道へと訪れる人と人の絆というものを一層深めていきたいと考えます。そこで、今回の事業のテーマを「絆」とし、しまなみ海道のほぼ中心となる瀬戸田サンセットビーチにて音楽フェスティバルを開催し、多くの方々にしまなみ海道へ来て頂き、しまなみ海道の魅力を感じて頂き、そして全国へ発信していきたいと考えます。

b. (対内)

この事業を通じて、しまなみ海道の魅力を再認識し発信することで、我々青年会議所の活動をより多くの方々に認知していただき、まちづくりに関わる団体として、更なる明るい豊かなまちづくり活動への一助となると考えます。

(4) 事業内容

a. 実施日時 2011年8月28日(日) 11:00~19:00

b. 場 所 瀬戸田サンセットビーチ 野外ステージ・グラウンド

c. 予算総額 ￥1,570,000

d. 参加人員 内部86名 外部1000名 計1086名

e. 動員計画 ポスター、チラシを企業・団体・マスコミ各社に配布

f. 外部協力者 尾道大学軽音楽部20名、出演者(詳細は別紙)

g. 実施組織・推進リーダー LOVEしまなみ委員会 委員 青山 暢克

h. 実施手順・プログラム

2011年	6月27日(月)	第7回正副理事長会議	協議
	7月6日(水)	第7回理事会	協議
	7月13日(水)	臨時正副理事長会議	協議
	7月15日(金)	臨時理事会	協議
	7月25日(月)	第8回正副理事長会議	審議
	8月8日(月)	第8回理事会	審議
	8月28日(日)	事業実施	

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

出演者は年齢・プロ・アマ・ジャンルを問わず参加していただくことでより幅広い来場者が期待できます。またこの事業を通じて、このたびの東日本大震災の被災地気仙沼で震災復興支援活動に取り組んでいる方々にバンド出演や飲食ブース出店、震災に関するパネル展示にて現地の状況やこれからの取り組みを来場者に伝えていただきます。会場に来られた方々には復興メッセージをいただき、心の復興支援が出来たらと考えます。

(6) 審議のポイント

内容・予算について

(7) 会議での意見とその対応

意見) 音楽ではなく、違う方法でしなみを発信できるのでは？

対応) 新たな魅力の発信として音楽を位置付けています。音楽には人に伝える力や影響、心に響くものがあり、聞き手と歌手が同じ空間を共有できる魅力があります。この事業で音楽文化の充実に努め、しなみ海道沿いの芸術文化の幅を広げていけたらと思います。

意見) 集客はサンセットビーチの来客に頼るのか？

対応) 集客は広報活動と、出演者による集客で基本的に考えています。プラスの効果としてサンセットビーチに来られた方の集客としては考えています。

意見) ひまりの普段の集客はどのくらい？

対応) 最近では300名ほどのライブを開催しております。

意見) 出演者の年齢層は？

対応) 20歳代から50歳代の年齢層を考えております。

意見) 駐車場は400台程度だが対策は？

対応) 1台で2～4名で来場されると考えております。メンバー、出演者関係の車は当委員会メンバー濱野委員の会社に50台ほど確保しておりますので対応できると考えています。

意見) 室対応で大丈夫か？

対応) 人員計画(案)で室対応と尾道大学ボランティアで考えておりますが、メンバーの皆様のご協力もお願い致します。

意見) 岩城島(レモンパーク)飲食ブース、飲食ブースの充実が必要では？

対応) より良い飲食ブースにするために設えを検討致します。

意見) 騒音対策は？

対応) 開催時間帯が日中から夕方にかけてですので、サンセットビーチにも確認しましたが問題ないとのこと。音量に関しましては十分考える必要があると思います。

意見) 協賛企業はどのようにまわるのか？

対応) 広報もかねて当委員会メンバーで取引先企業等中心にまわりますが、メンバーの皆様のご協力もお願い出来ましたら幸いです。

意見) 全国に発信する中で、どのような手法を考えているか？

対応) 全国放送しているメディアを活用し取材していただけるよう調整中です。

意見) 気仙沼飲食出店の売り上げに関しては？

対応) 気仙沼物産ブースの売り上げに関しましては、復興活動の資金として活用していただきます。

意見) チケット販売は考えなかったか？また一部を義援金として被災地に

対応) チケット販売は考えましたが、観光客や一般客も自由に出入りできる会場で有料にすることが難しいと考えました。チケットの一部を義援金としてですが、あくまでも、しまなみ海道の魅力を発信する目的であります。以上のことを踏まえまして無料とすることで多くの方々にお越しいただけると考えました。

(8) 他委員会への依頼事項等

メンバーの皆様には、より多くの方にご来場いただけますよう当事業に関するお声かけをお願い致します。またお時間許されましたら前日の設営及び当日の運営のご協力をお願い申し上げます。

(9) 添付資料

- 事業収支予算書 (案)
- 収支予算明細書 (案)
- 出演・アーティスト (案)
- タイムスケジュール (案)
- 会場配置図 (案)
- ポスター・チラシ配布先リスト (案)
- 広報活動依頼先一覧 (案)
- 開催趣意書及び企画書 (案)
- 動員計画 (案)
- 安全管理・事故対策 (案)
- 人員配置計画 (案)
- 当日観客向け配布チラシ (案)
- 企業協賛看板 (案)
- 出店一覧 (案)
- 出演団体様向け企画書及び要望書 (案)
- メッセージ白布デザイン (参考資料)
- メディア掲載依頼リスト (参考資料)
- 会場付近図 (参考資料)
- ポスター・チラシデザイン (参考資料)

理事会

2011年 8月 8日

事業収支予算書(案)

事業名 しまなみ音楽フェス ～絆～

収入の部							
大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入				0	
	事業費繰入収入	事業費繰入収入			1,000,000	-1,000,000	
	登録料収入					0	
	懇親会収入						
	販売収入						
	広告料収入				500,000	-500,000	
	負担金収入				70,000	-70,000	
補助金等収入	雑収入					0	
	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
寄付金収入	地方公共団体助成金収入					0	
	民間助成金収入					0	
	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
	収入合計			0	1,570,000	-1,570,000	

支出の部									
大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考		
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出		80,000	-80,000			
			食事代支出			0			
			会場費支出		57,560	-57,560			
			設営費支出		660,650	-660,650			
			運送費支出			0			
			レンタル料支出			0			
		小計			0	798,210	-798,210		
		企画演出費支出	人件費支出			268,333	-268,333		
			食事代支出			15,000	-15,000		
			企画費支出				0		
			演出費支出			22,500	-22,500		
			旅費交通費支出			183,120	-183,120		
		小計			0	488,953	-488,953		
		本部関係費支出	人件費支出				0		
			食事代支出				0		
			会場費支出				0		
			設営費支出				0		
			旅費交通費支出				0		
			通信費支出				0		
			運送費支出				0		
			消耗品費支出				0		
			レンタル料支出				0		
			保険料支出				0		
			渉外費支出				0		
		小計			0	0	0		
		講師関係費支出	食事代支出				0		
			旅費交通費支出				0		
			宿泊費支出				0		
			保険料支出				0		
			諸謝金支出				0		
			会合費支出				0		
		小計			0	0	0		
		広報費支出	運営費支出				0		
			会場費支出				0		
			設営費支出				0		
			通信費支出				0		
			消耗品費支出				0		
			レンタル料支出				0		
			作成費支出				210,460	-210,460	
			PR費支出					0	
		小計			0	210,460	-210,460		
		資料作成費支出	通信費支出				0		
			資料費支出				0		
			消耗品費支出				0		
			レンタル料支出				0		
		小計			0	0	0		
		報告書作成費支出	通信費支出				0		
			資料費支出				0		
			消耗品費支出				0		
			レンタル料支出				0		
			作成費支出				0		
		小計			0	0	0		
		懇親会費支出	人件費支出				0		
			会場費支出				0		
			設営費支出				0		
			旅費交通費支出				0		
			運送費支出				0		
			レンタル料支出				0		
			保険料支出				0		
			飲食費支出				0		
			アトラクション費支出				0		
		小計			0	0	0		
		渉外費支出	役員渉外費支出				0		
			記念品代支出				0		
		小計			0	0	0		
		旅費交通費支出	旅費支出				0		
			交通費支出				0		
			宿泊費支出				0		
		小計			0	0	0		
		参加記念品代支出					0		
		保険料支出				4,600	-4,600		
		通信費支出				0	0		
		販売物品仕入支出				0	0		
		雑費支出				20,000	-20,000		
		事業予備費支出				47,777	-47,777		
			支出合計			0	1,570,000	-1,570,000	

収支予算明細書(案)

事業名 しまなみ音楽フェス ～絆～
 <収入明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備 考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			1,000,000	
負担金収入	協賛金収入	ドリンク会社協賛	ドリンク会社協賛金	10,000	尾道飲食組合
		飲食ブース出展	飲食ブース出展料 6店舗×¥10,000	60,000	
広告料収入	企業協賛金収入	企業協賛金	企業協賛金 50社×¥10,000	500,000	
合 計				1,570,000	

<支出明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備 考	
事業費支出	会場設営費支出	会場費支出	会場使用料(照明費含む)	57,560	瀬戸田サンセットビーチ	
		設営費支出	音響設備設営料	500,000	マンテツプランニング	
			ステージ看板	60,900	メディアジャンクション	
			道路案内看板3×¥5250	15,750	水ノ上災害防具	
			ゴミ回収コンテナ	40,000	大山商店	
			てっぱんレンタル料	18,000	尾道観光協会	
			飲食ブースプロパンガス	6,000	高垣設備	
			キッズ用粗品	20,000	ダイソー等	
			人件費支出	警備員 4名×¥20000	80,000	エイチアイカンパニー
		小 計				798,210
	企画演出費支出	人件費支出	司会者出演料	33,333	横山雄二氏	
			出演料	100,000	森田直幸氏(所属事務所へ支払い)	
			出演料	100,000	ひまり(所属事務所へ支払い)	
			出演料	35,000	マウンテンマウス(所属事務所へ支払い)	
		旅費交通費支出	東北ブース出展者交通費(尾道-気仙沼)		157,620	3名×¥52,540
			東北ブース出展者宿泊費		25,500	3名×¥8,500 尾道国際ホテル
		演出費支出	東北支援 寄せ書き用 白布		12,000	総合衣料ももたに
			寄せ書き用マジック等 筆記用具		10,500	ダイソー
		食事代支出	出演者・スタッフ飲料水		15,000	ラムー
		小 計				488,953
	広報費支出	作成費支出	ポスター、チラシ	160,860	メディアジャンクション	
			ホームページ作成	28,500	メディアジャンクション	
			当日観客用配布チラシ紙・印刷1200部	6,100	ネット印刷(株)マルニ	
			チラシ(1円×15000部)	15,000	事務局	
	小 計				210,460	
	小 計				0	
	小 計				0	
	事業予備費支出	参加記念品代支出				
		保 険 料 支 出		賠償責任保険	4,600	(株)NK
		通 信 費 支 出				
		販売物品仕入支出				
		雑 費 支 出		医療用薬品、氷など	20,000	ひまわり薬局
	合 計				1,570,000	

出演者・アーティスト(案)

<総合司会> 横山 雄二 様(RCC 中国放送 アナウンサー)



テレビ・ラジオ番組でも活躍中

<スペシャルゲスト①> 森田 直幸 様(俳優)



NHK 朝の連続テレビ小説「てっぺん」にも出演。ドラマ・舞台・映画など幅広く活躍中。
ファンキーモンキーベイビーズの最新PVに主演出演している。

<スペシャルゲスト②> 池永 憲彦 様(ミュージシャン)



広島県尾道市出身

2001年 ポップスバンド「ジャンクルーズ」を結成。

2003年 Sound Contest03 にて全国大会関東代表でグランプリを受賞。

2004年 関西ミュージックインディーズアワード(特別協賛:大塚製薬)にて準グランプリを受賞。

2005年8月26日にファーストアルバム「WILD JOURNEY」で全国デビューを果たす。

2008年春に三枚目のアルバムが「pal-let」がリリースされた。

喉の病気(声帯結節)の発覚からジャンクルーズ活動休止へ。活動休止をきっかけに、パラリンピックに着目し応援活動を始め。新プロジェクト **Happy Japan Project (HJP)** を発足。

2008年から本格始動。

地元尾道での支持も大きく、単独ライブの他、小学校での講演や祭り出演なども依頼され、地元紙などの取材も多数受ける。

現在、地元尾道で THE 東南西北の清水伸吾氏、大池茂文氏、ギタリストの有木暢朗氏と共に Plastic Ono☆Michi Band を結成。

その他にHJPイベント企画や、実家の食材卸会社頑固屋有限会社取締役としての尾道ラーメンを主としたメニュー作り、開店指導などの活動も行っている。

<スペシャルゲスト③> ひまり(ミュージシャン)



大阪のストリート出身のメジャーデビューしている男性デュオ。

リーダー松瀬 一昭、サブリーダー門松 良祐。リーダーの松瀬一昭さんは因島出身。

2002年 ひまり結成。インディーズ時代には大会などで多くの賞を受賞。

2006年 プロダクション契約を結び、メジャーデビュー

2007年 ファーストミニアルバム「ひまり」(7/18)リリース

2ndミニアルバム「あかね色」(11/7)リリース

全国各地でワンマンライブツアーを行い多くの動員に成功している。

全国各地の音楽フェス、学園祭にも多数出演。

尾道みなと祭りをはじめとする地元のイベントにも精力的に出演。

7/13 待望の2ndシングル「ヒカリ/尾道の夏」をリリース

<アマチュアバンド>

- ① Sugar fracture(尾道大学軽音楽部)
- ② LBD
- ③ マウンテンマウス
- ④ プラスティック・オノミチバンド
- ⑤ 新開警備隊
- ⑥ カフェ・フィッシュ
- ⑦ 気仙沼市バンド

<その他> 佐藤 由美子 様(気仙沼市より)

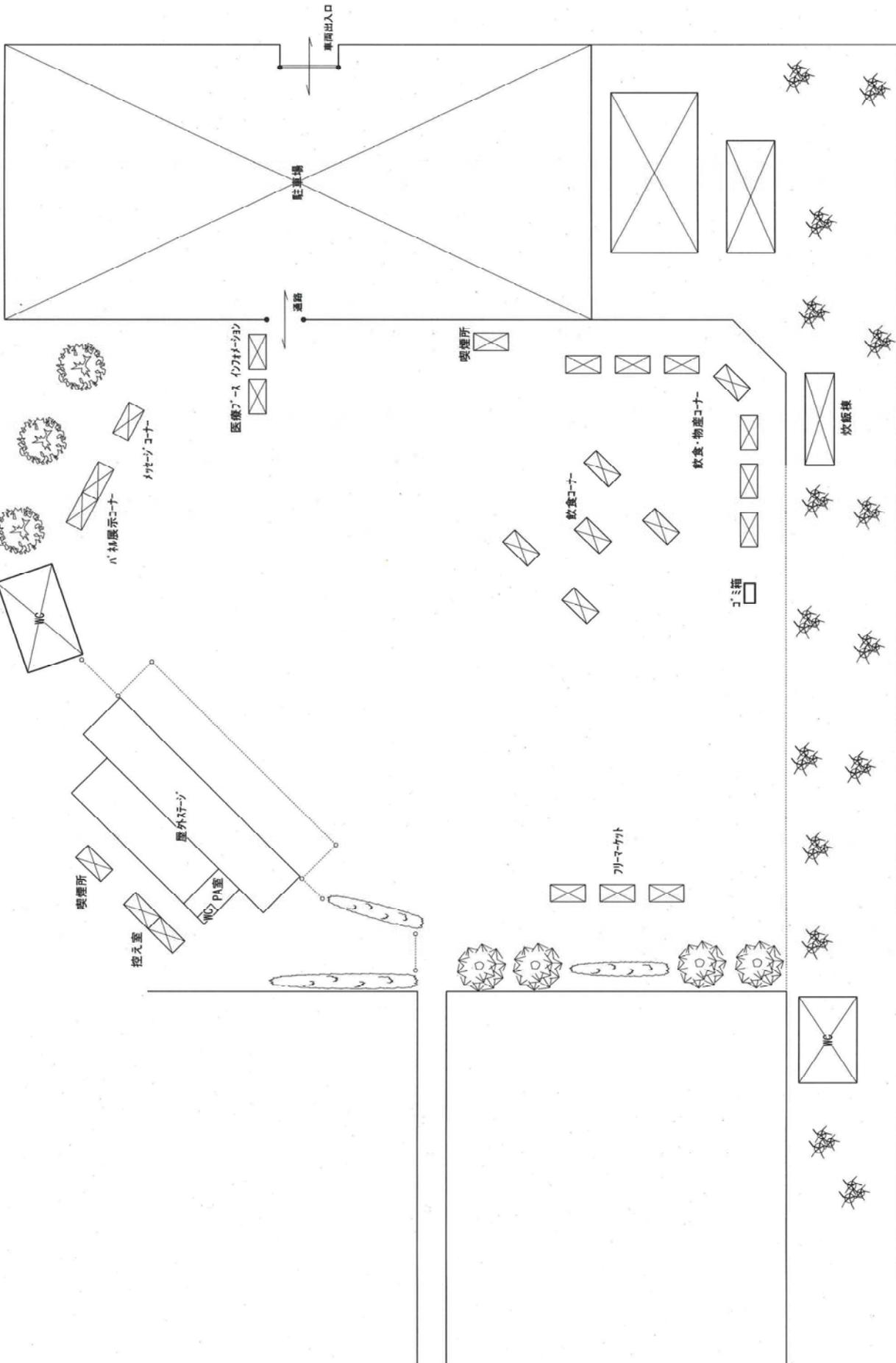
NHK 番組「朝イチ」にも紹介された、気仙沼の復興活動の中心人物である。

タイムスケジュール(案)

開場	11:00
開会	13:00 司会挨拶、主催挨拶、各ブース紹介、注意事項
アマチュアバンド①	13:15～13:45(LDB)
アマチュアバンド②	13:45～14:15(Sugar fracture 尾道大学軽音楽部)
アマチュアバンド③	14:15～14:45(マウンテンマウス)
アマチュアバンド④ (調整時間15分)	14:45～15:15(カフェ・フィッシュ)
トークタイム	15:30～16:00(森田直幸・池永 憲彦・佐藤 由美子)
アマチュアバンド⑤	16:00～16:30(気仙沼市バンド)
アマチュアバンド⑥	16:30～17:00(新開警備隊)
スペシャルゲスト①	17:00～17:30(プラスチック・オノミチバンド)
スペシャルゲスト②	17:30～18:00(森田直幸)
スペシャルゲスト③	18:00(ひまり)
エンディング (調整時間10分)	18:40 ひまりがリードして出演者全員がステージ上で大合唱
閉会	19:00

※ アマチュアバンドの持ち時間は30分。(セッティング5分・演奏25分)

※ 演奏終了から次のアーティストの演奏開始までの空き時間は BGM を流し、演奏終了バンドと司会者のトークや各ブース紹介などをつないでいく。



ポスター・チラシ配布先リスト(案)

依頼先	ポスター	チラシ
尾道市役所	5	20
尾道商工会議所	2	20
尾道しまなみ商工会青年部	2	20
因島商工会	2	20
瀬戸田商工会	2	20
経済同友会	2	20
尾道法人会	2	5
尾道ロータリークラブ	2	20
尾道東ロータリークラブ	2	20
尾道ライオンズクラブ	2	20
尾道みなとライオンズクラブ	2	20
尾道瑠璃ライオンズクラブ	2	20
向島ライオンズクラブ	2	20
パイロットクラブ	2	20
ソロボチニスト	2	20
尾道大学	5	50
尾道観光協会	2	20
因島観光協会	2	20
尾道ベイトウン組合	20	50
尾道飲食組合	5	20
尾道FM	2	5
尾道ケーブルテレビ	2	5
備後経済レポート社	2	5
ビジネス情報	2	5
経済レポート(尾道支局)	2	5
山陽日日新聞社	2	5
中国新聞社	2	5
読売新聞社	2	5
朝日新聞社	2	5
NHK広島放送局	2	5
RCC 中国放送	2	5
広島テレビ	2	5
広島ホームテレビ	2	5
テレビ新広島	2	5
テアトロシエルネ	5	20
JR尾道駅、JR東尾道駅、JR新尾道駅(新幹線)	6	60
グリーンヒル尾道	5	20
尾道国際ホテル	5	20
西山別館	5	20
尾道第一ホテル	5	20
尾道ロイヤルホテル	5	20
広島県内 11青年会議所	22	110
(社)今治青年会議所	5	20
今治市役所	5	20
(社)今治観光協会	5	20
因島内(企業・コンビニ・スーパー・飲食店等)	30	30
向島内(企業・コンビニ・スーパー・飲食店等)	30	30
尾道市内・御調(企業・コンビニ・スーパー・飲食店等)	70	140
瀬戸田内(企業・コンビニ・スーパー・飲食店等)	30	30
瀬戸田サンセットビーチ	10	100
楽器店(福山)25店舗	25	250
楽器店(三原)3店舗	3	30
楽器店(今治)8店舗	8	80
ライブハウス(尾道)1会場	2	10
ライブハウス(福山)4会場	8	40
ライブハウス(今治)1会場	2	10
出演者(アマチュアバンド含む)	50	50
尾道青年会議所現役メンバー	86	172
計	522	1837
*その他配布先は適宜追加する。		

広報活動 依頼先一覧(案)

	報道機関・各種団体名	住所	電話番号 FAX番号	担当部署 担当者名	e-mailアドレス	配信先
1	尾道市役所	〒722-8501 尾道市久保1丁目15-1	0848-25-7111 0848-37-2740	*各担当部署へは個別に連絡を取		FAX
2	尾道市役所 秘書広報課 秘書係	〒722-8501 尾道市久保1丁目15-1 尾道市役所 4階	0848-25-7303	*主として尾道市長への報告 や 連絡のための連絡先		
3	尾道ケーブルテレビ	〒722-0037 尾道市西御所町12-15 第6堀田ビル7階	0848-24-0050 0848-24-0510	製作グループ 野田 克人	noda@octv.co.jp	FAX
4	尾道エフエム放送	〒722-0035 尾道市土堂2丁目3-23	0848-20-0794 0848-20-0795	局長 川村佳己	局長補佐 秋元 敏宏 794@fmo.co.jp akimo@fmo.co.jp	メール
5	山陽日日新聞社	〒722-0045 尾道市久保2丁目6-21	0848-37-2615 0848-37-0505	社長 秋田 清	秋田 完 tamo321@eagles.ocn.ne.jp	FAX
6	中国新聞尾道支局	〒722-0036 尾道市東御所町1-20	0848-22-5258 0848-20-0052		md_inoue@chugoku-np.co.jp	FAX
7	NHK広島放送局	〒730-8672 広島市中区大手町2-11-10	082-504-5111			
8	広島ホームテレビ	〒730-8552 広島市中区白島北町19-2	082-221-7110	報道部 細田重成	hosoda@shinnippo.co.jp	
9	テレビ新広島	〒734-8585 広島市南区出汐2-3-19				
10	RCC 中国放送	〒730-8504 広島市中区基町21-3	082-222-1155			
11	広島テレビ	〒730-8575 広島市中区中町6-6	082-249-1212	井坂 雄幸 (広島JC OB)	vasui@kohhoh.co.jp	
12	(株)経済リポート	〒722-0805 福山市御門町3-5-8	084-931-2000 084-921-0244		info@keizai.co.jp	
13	(有)備後レポート社	〒722-0014 尾道市新浜1丁目14-31	0848-22-2214 0848-23-2721		report@bingoweb.co.jp	
14	(株)経済リポート尾道支局		090-77792363	西亀 悟		
15	(社)尾道観光協会	〒722-0046 尾道市長江1-3-3	0848-37-9736	見永	minaga@ononavi.jp	

平成23年 7月吉日

関係諸団体各位

社団法人 尾道青年会議所
理事長 手塚 淳三

趣 意 書

拝啓 初夏の候ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

西瀬戸自動車道（しまなみ海道） しまなみ海道、尾道ー今治ルートが開通して12年目となる現在、尾道から今治までの町や島々の交流はより盛んになり、芸術・文化交流としてもつながりが深くなっていると感じます。そんな中、新たな魅力の発信として音楽という芸術・文化でしまなみ海道を県内はもちろん、全国に発信できたらと考えます。音楽の力には人に与える影響力や人に伝える力、心に訴えるものがあり、歌い手と聞き手が同じ空間を共有でき楽しめる魅力があると考えます。音楽を通じてしまなみ海道沿線の人と人との絆を、そしてしまなみ海道へと訪れる人と人との絆というものを一層深めていきたいと考えます。そこで、今回の事業のテーマを「絆」とし、しまなみ海道のほぼ中心となる瀬戸田サンセットビーチにて音楽フェスティバルを開催し、多くの方々にしまなみ海道へ来て頂き、しまなみ海道の魅力を感じて頂き、そして全国へ発信していきたいと考えます。

関係各位の皆様におかれましては、どうぞこの「しまなみ音楽フェス ～絆～」へのご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

敬具

事業概要: 広島県内外のアマチュアバンド、及びプロミュージシャンによる野外ライブ。

しまなみ海道沿線のフードコーナー。宮城県の物産販売コーナー。

東日本大震災被災地の状況を写真パネルで紹介。復興支援メッセージの募集。

義損金募金コーナー。

*会場を瀬戸田とすることで、多くの方にしまなみ海道に来て頂き、その魅力を感じて頂くことを目的とする。

*音楽を通じて人と人との絆を育み、しまなみ海道の魅力を発信する。

*被災地 気仙沼としまなみ海道との「人と人との交流」をはかる。

実施日時: 2011年8月28日(日) 11:00～19:00

会 場: 瀬戸田サンセットビーチ 野外ステージ・グラウンド

主 催: 社団法人 尾道青年会議所

動員計画（案）

<出演者による集客> 650名

- ① 横山雄二氏・森田直幸氏の出演（100名）
- ② 池永憲彦氏の出演・動員協力（100名）
- ③ ひまりの出演・動員協力（100名）
- ④ アマチュアバンドの動員協力（350名：7バンド×50名）

<広報活動による集客> 350名

- ① 各種マスコミ・雑誌・新聞・メディアでの広報活動
- ② エフエム尾道・ケーブルTV・RCCの出演による告知
- ③ 備後地区の飲食店、スーパー、コンビニ、ショッピングモール、大型書籍CD店、大学などポスター・チラシ配布による告知
- ④ 協賛企業による協力
- ⑤ ホームページによる告知

以上で1000名の動員が見込めると考える。

<その他の集客手法>

- ① 飲食ブースの出店
しまなみ海道ブースを6、気仙沼ブース1、ドリンクブース1の8ブースを出店し、食事と共に音楽を楽しんで頂く。
- ② 東北復興支援ブースの設置
震災津波の写真パネル展示や気仙沼市の震災復興活動の中心人物佐藤由美子さんに現状やこれからの思いなど伝えていただきます。義援金コーナーを設け、森田直幸さんやひまりさんにも呼びかけのお手伝いをいただきます。また来場者の方々に復興に向けた絆メッセージをいただく。
- ③ フリーマーケットの出店
尾道手工房のフリーマーケット（おのみち手しごと市）。主婦の方々が中心で約300名の会員数があり出展品はすべて手作り。おのみち手しごと市は開催を重ねるたび来場者が増え、フリーマーケットにお越しいただいた方々にも音楽を楽しんで頂く。
- ④ CD販売・サイン会握手会・写真撮影
森田直幸、ひまりのサイン入りCD販売・サイン会・写真撮影ブースを設ける。
- ⑤ ファミリー・キッズコーナー
家族の休憩場所とお子様 자유롭게楽しめる場所を提供する。日除けテント、粗品（風船・ビーチボール等）を配布する。

安全管理・事故対策（案）

<駐車場の警備・誘導>

警備員 4 名の上、J Cメンバー 4 名、ボランティア 8 名の 16 名体制
4 箇所の駐車場（1 箇所：警備員 1 名 J Cメンバー 1 名、ボランティア 2 名）

<会場の警備>

出演者の警備、ステージ前の警備、会場内の警備として 14 名体制（J Cメンバー、ボランティア）

<観客の事故保険対応>

施設賠償責任保険にて対応 1 名 1 事故 3 億円

<観客の体調不良など>

インフォメーション・医療ブースにて応急処置等行う。8 月当番医確認。
病院：瀬戸田市民病院 因島総合病院 因島医師会病院

<荒天中止の対応>

AM 6 : 0 0 より以下の対応
事務局にメンバー待機
会場で中止の張り紙（サンセットビーチ内）
ホームページ上で中止の告知
出演者・各ブース出店者・各業者に連絡

<雨天決行>

雨の状況にもよるが天候が一変して晴天になることもあるので AM 11 : 0 0 に判断

人員配置計画（案）

< 8月27日（土）：前日 >

- 設営備品の積込・運搬（9：00～12：00）30名
- 尾道市内でテント・長机・椅子の積込作業後、サンセットビーチへ移動

- 会場設営（13：00～17：00）30名

ステージ設営（音響業者）

会場内外のテント・長机・椅子・看板などの設置

案内看板（瀬戸田市内3ヶ所）

< 8月28日（日）：当日 > 46名（JC27名、ボランティア15名、警備員4名）

- 集合・打ち合わせ・準備（9：00～10：00）

- 各担当に配置（11：00～19：00）

飲食ブース設営・管理・誘導（担当：安本）	5名（JC）
駐車場誘導係（担当：濱本・濱野）	16名（警備員4+JC8+ボラ4）
プロ出演者担当・誘導（担当：青山）	2名（JC）
寄せ書きコーナー担当（担当：石井）	2名（ボラ）
義損金コーナー管理担当（担当：石井）	2名（JC）
インフォメーション・医療ブース（担当：岸上）	3名（JC）
舞台袖管理・警備（担当：寺下）	2名（ボラ）
アマバンド楽屋廻り警備・誘導（担当：尾野）	4名（JC2+ボラ2）
会場 観客誘導整理・警備（担当：辻）	10名（JC5+ボラ5）

- 片付け作業（19：00～20：00）

< 8月29日（月）：次日 >（9：00～12：00）21名

- テントの積込・搬出

サンセットビーチでテント・長机・椅子の積込作業後、尾道市内へ移動。

テント・長机・椅子 等の返却。その他備品の整理・返却。

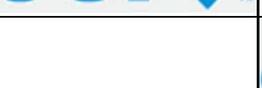
当日観客向け配布チラシ（案）

記載事項

- ・ 会場配置図
- ・ 緊急時連絡先
- ・ 出演者紹介
- ・ タイムスケジュール
- ・ 各ブース紹介
- ・ 企業協賛一覧

など

しまなみ音楽フェス ～ 絆 ～ 協賛企業

	(株)備後開発		谷前住建(株)		(有)やすもと		磯村産業(株)			
青山配工(株)		(株)丸松		(株)A社		(株)B社				
	(有)ケイワハウジング		(株)啓文社		(株)NK		(有)辻秀工務店			
							浜本電設(有)			
							(有)ラブワン			
										
										
										
										
										
										
										

飲食・物産コーナー出展一覧(案)

H23年7月21日現在

	出店名	出店品	鉄板使用台数
物産	気仙沼	フカヒレなどの乾物等(特産品)	0
飲食	いっとく	とんぺい焼き・串焼き・その他	1
飲食	ミーシャーズファーム	かき氷・鶏唐揚・フランクフルト・山賊焼・焼きそば・お好み焼き・ロコモコ・タコライス等	1
飲食	ままかり屋	かき氷・チーズトンペイ焼き等	2
飲食	頑固屋	尾道ラーメン等	0
飲食	尾道飲食組合	生ビール・ソフトドリンク等	0
飲食	常石ケータリング	ハンバーガー・フランクフルト・かき氷等	0
飲食	今治市	現在交渉中	1

* 飲食ブースについては出店料として1万円頂きます。

* 出店スペースは1店舗テント1張りです。

しまなみ海道音楽フェス ～絆～

出演団体様向け企画書及び要望書（案）

事業概要：広島県内外のアマチュアバンド、及びプロのミュージシャンによる野外ライブ。

東日本大震災被災地、宮城県気仙沼市からゲストアーティストを招いての復興ライブ。

しまなみ海道沿線の名物を集めたフードコーナー。宮城県の物産販売コーナー。

東日本大震災被災地の状況を写真パネルで紹介。

東日本大震災被災地への復興支援メッセージの募集。義損金募金コーナー。

*会場を瀬戸田とすることで、多くの方にしまなみ海道に来て頂き、その魅力を感じて頂くことを目的とする。

*音楽を通じて人と人との絆を育み、しまなみ海道の魅力を発信する。

*被災地 気仙沼としまなみ海道との「人と人との交流」をはかる。

実施日時：2011年8月28日（日） 11:00～19:00

会場：瀬戸田サンセットビーチ 野外ステージ・グラウンド

主催：社団法人 尾道青年会議所

出演に関するお願い

1：各出演団体様の持ち時間は30分（内訳は、演奏15分、セッティング・入退場15分）とさせていただきます。

2：出演時刻等のタイムスケジュールにつきましては、できるだけご希望に沿うように検討させていただきますが、ご希望に沿えない場合もございます。予めご了承ください。

3：各団体様ごとに、バンド名・メンバー構成表・楽器等のセッティング図を記入の上、提出をお願いします。（別添の用紙にご記入下さい。）

*セッティング図は運営スタッフの方にセットイメージを伝えるために使用します。具体的なセッティングや演出につきましては事前に打ち合わせをさせて頂き内容を決定させていただきます。

4：当日使用の楽器につきましては、参加団体様の責任において持参をお願いします。

（駐車場をご用意させていただきますのでご利用下さい。）

なお、当日の入れ替え等をスムーズに行うため、基本的には備え付けの機材をご使用頂きます。（予定機材：ギターアンプ ベースアンプ デジタルピアノ ドラムセット）

その他、用意してほしい機材等がありましたら、別紙セッティング図に記載のうえ提出をお願い致します。

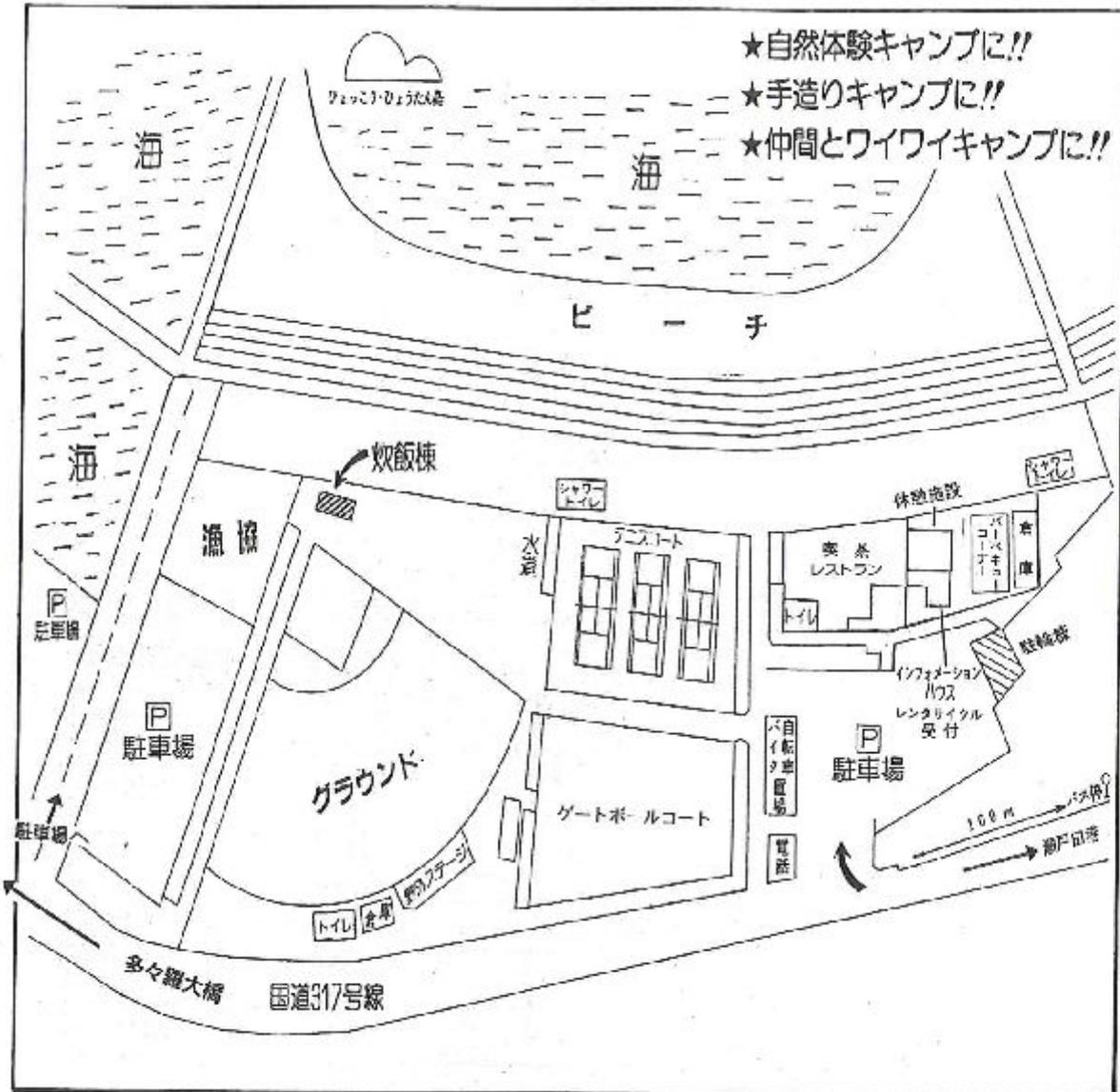
5：当日は、ミーティング等がございますので、10:00までに会場へお越し下さい。（時間厳守をお願い致します。）

6：申し訳ありませんが、会場までの交通費は自己負担でお願い致します。

糸半
～キズナ～

しまなみ音楽フェス主催 (社)尾道青年会議所

掲載依頼先	掲載可否	掲載号	発行元	担当者	連絡先	mail	備考
中国新聞 メセマガ	可	8月19日	中国新聞備後本社	塚本様(アスコン) 橋本様(中国新聞)	084-975-3297 070-5676-4807	t.asuka@ascon.co.jp hashimoto@chushinko.co.jp	編集はアスコン(WINK発行元)
BJ 中国ビジネス情報	可	8月10日	中国情報出版(株)	佐藤様	084-957-0666	bj@e-chusen.com	
備後経済レポート	可	8/10&8/20	(有)備後レポート社	二宮様	090-9062-8035	info@bingoweb.co.jp	8/10告知、8/20インタビュー記事
経済レポート	未定	8月10日	(株)経済レポート	西亀様			7/25承諾済
わくわくさかのまち通信	未定		中国新聞尾道販売所	吉田様	090-7509-2677		後日説明
広報おのみち	可	8月号	広報おのみち	村上様	0848-25-7377		7/25出来上がり
		8月号	福山リビング新聞				「リビングふくやま」8月20日



せとだサンセットビーチ

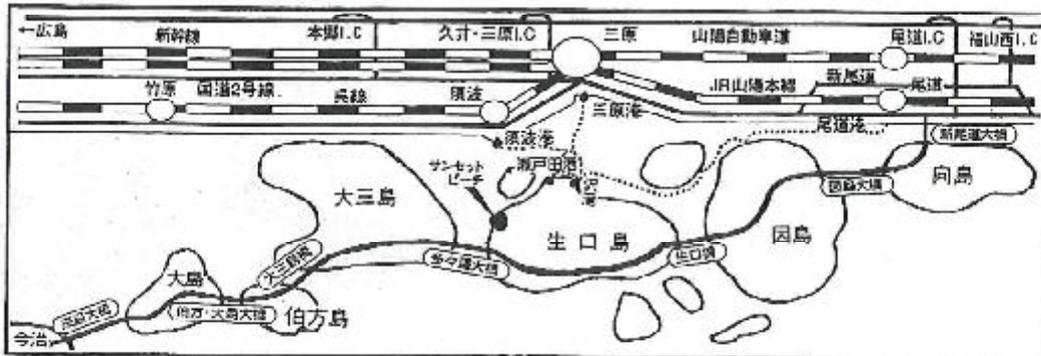
尾道市自治振興事業団南部事業所

〒722-2404

広島県尾道市瀬戸田町垂水1506-15

TEL0845-27-1100

FAX0845-27-3750



しまなみ音楽フェス

SHIMANAMI MUSIC FES

絆

KIZUNA

2011.8.28 (Sun)
SETODA SUNSET BEACH
13:00 Start ~ 19:00 11:00 OPEN



がんばろう! 日本
 しまなみから気仙沼に
 元気を届けよう!

野外ライブ

お子様連れのご家族も楽しめます!

飲食 てっぱん、串焼きなど
 コーナー(11:00~)
気仙沼
 ブース
がんばろう! 東北

被災地写真コーナー
復興応援メッセージ
義援金
 気仙沼より復興活動に携わられている方にお越しいただき震災の状況写真展示や被災地の声を伝えていただく場もステージ上で設けております。気仙沼特産品出店もあり、来場者から復興支援メッセージをいただきます。

- ◆雨天決行
- ◆駐車場400台
- ◆日よけテント完備

おのみち手しごと市
 手づくり作品が集まります!

日射病、熱中症にご注意ください。しまなみ音楽フェスは野外で行われます。帽子をかぶったり、定期的な水分補給をしながら健康管理に心がけてください。

〔後援〕尾道エフエム放送 尾道ケーブルテレビ(社)尾道観光協会
 尾道しまなみ商工会瀬戸田支所

〔主催・お問合せ先〕社団法人 尾道青年会議所
 〒722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所3F

TEL: 0848-20-1110 FAX: 0848-20-1112
 URL: <http://www.ojc.or.jp/> Mail: ojc@urban.ne.jp
 詳しくは(社)尾道青年会議所のホームページをご覧ください。

出演バンド

**入場料
無料**

森田直幸 / ひまり
 プラスティック・オノミチバンド
 マウンテンマウス / Sugar fracture(尾道大学)
 LDB / 新開警備隊 その他アマチュアバンド多数出演!!



森田直幸 (NHKてっぱん 村上棘平役、バンド出演します。) ひまり(ミュージシャン) 池永憲彦(ミュージシャン) プラスティック・オノミチバンド 横山健二(組合員) RBC中国放送アナウンサー



- 生口島北ICより左回り約20キロ、車で15分
- 生口島南ICより右回り約10キロ、車で8分
- 瀬戸田・瀬戸田港より車で約10分

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案) 予算 (案)

審議 事項

委員会名：ブロック研修実行委員会

副実行委員長名：黒飛 元晴

(1) 議案名 9月合同委員会 事業計画 (案) について

(2) 事業名 「徳溢れる心醸成プロジェクト」家訓づくりプログラムの実施

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外)

b. (対内) 現在の日本では、今まで常識だった両親への感謝の思いまでもがさげすまれ、心の荒廃が確実に社会を蝕んでいます。本来、親から子へと受け継がれるべき、価値観までもが漂流しているのが現状です。いまこそ、我々自身が、日本人としての本来もちえた誇り高き精神性と美意識を見つめ直し、祖先より受け継いできた正しく生きる心、徳溢れる豊かな心を身につけ、新たな時代を担う子供達にしっかりと引き継ぐ必要があるのではないのでしょうか。

この度の9月合同委員会において、会員研修として「徳溢れる心醸成プロジェクト」家訓づくりプログラムを実施し、心の荒廃の背景にある数々の問題を個人の視点から見据え、自分の価値観を見つめ直すことはもちろん、心の軸足を構え、時代、立場を問わず、普遍的な価値観と一人ひとりが向き合う機会を設けたいと考えます。

自らのアイデンティティを仲間と共に探求し確認することで、個々の正しく生きる心を再発見・再認識でき、またその伝承の重要性に気づき、必ずや行動できるようになるでしょう。家訓づくりプログラムを通して、尾道青年会議所メンバーの資質向上、如いては「若い力」の更なる飛躍をはかりたいと考えます。

(4) 事業内容

a. 実施日時 2011年 9月 2日 (金) 19:30~20:45

b. 場 所 ベイタウン

c. 予算総額 ￥0 (詳細は別紙予算書)

d. 参加人員 内部 86名 外部 5名 計 100名

(内部内訳：現役メンバー86名・仮入会メンバー 9名)

e. 動員計画

f. 外部協力者 (公社) 日本青年会議所 次世代社会創造グループ 徳溢れる心醸成会議

g. 実施組織・推進リーダー ブロック会員研修実行委員会 委員 安部 昭一郎

h. 実施手順・プログラム

2011年	6月27日 (月)	第7回正副理事長会議	協議
	7月 6日 (水)	第7回理事会	協議
	7月25日 (月)	第8回正副理事長会議	審議
	8月 8日 (月)	第8回理事会	審議
	9月 2日 (金)	9月合同委員会	実施

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

日本J C徳溢れる心醸成会議のLOMサービスを、合同委員会の時間を使い、メンバーに受講して頂きます。会員研修という目的はもちろんのこと、普段なかなか垣間見えない日本J Cの活動の一部に触れる良い機会であると考えます。(社)尾道青年会議所のメンバーであることは、(公社)日本青年会議所のメンバーでもあることを周知して頂けると幸いです。

(6) 審議のポイント

内容について

(7) 会議での意見とその対応

意見) 研修に対して、当日までに準備しておく事・やっておく事等あるのでしょうか?

対応) 当日、受講して頂くだけで完結するプログラムとなっています。

ただ聞くだけのお堅いものではありません。参加型の楽しいプログラムですので、和気藹々と受講して頂きたいと思います。

意見) 他LOMの方は、どこからいらっしゃるのか?

対応) 全国のLOMより徳溢れる心醸成会議にご出向されています。その為、当日は全国より尾道に来られます。

(8) 他委員会への依頼事項等

合同委員会という貴重な時間ではありますが、各委員会メンバーにご理解いただきまして、御出席頂けます様、宜しくお願い致します。

(9) 添付資料

9月合同委員会次第(案)

会場図(案)

家訓づくりプログラムパンフレット

家訓づくりプログラム資料一式(回覧)

理事会 2011年 8月 8日

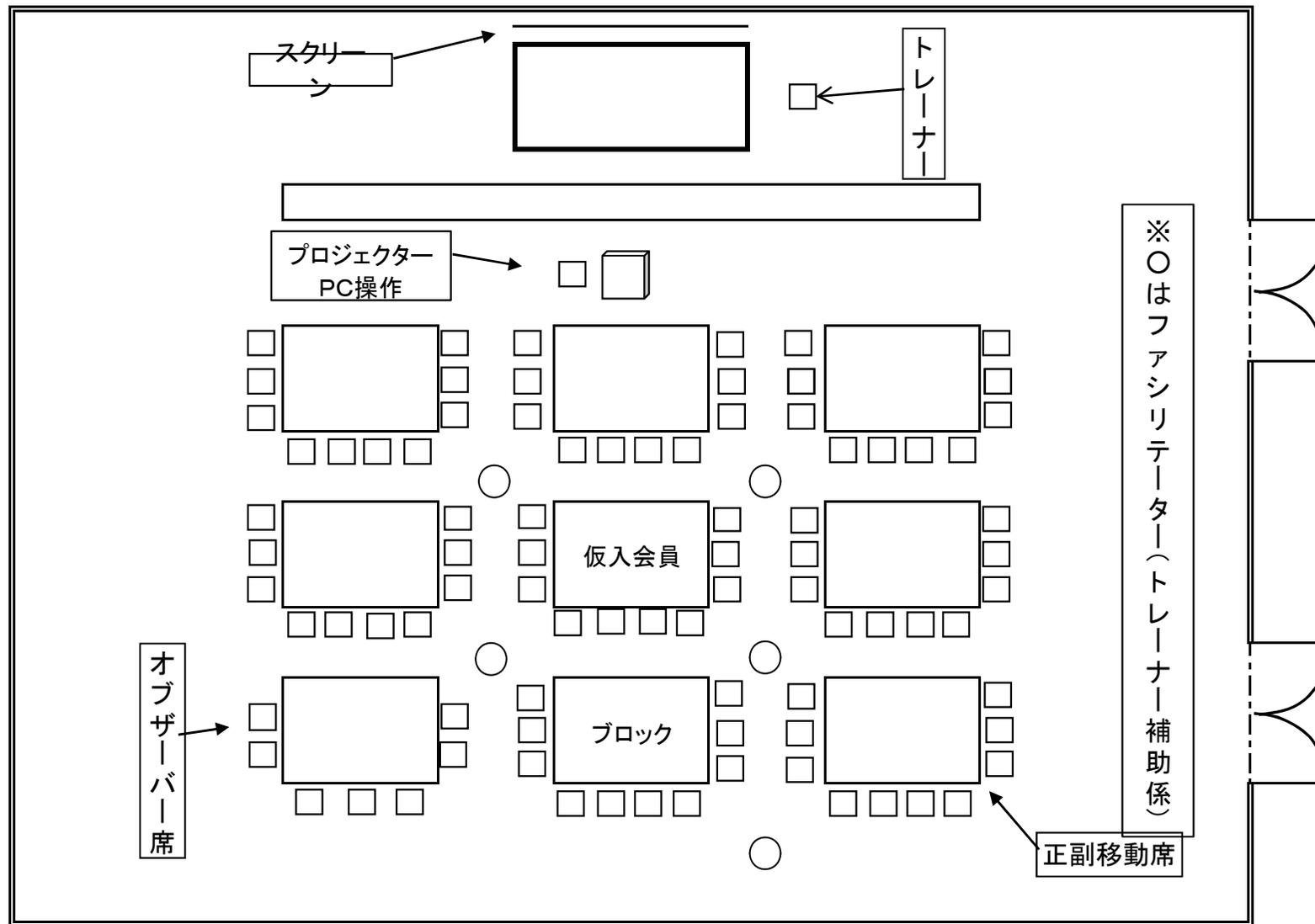
(社) 尾道青年会議所 9月合同委員会 次第 (案)

日時 2011年 9月 2日 (金)
19:00~21:00

場所 ベイタウン尾道

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1. 開会 | 19:00 |
| 2. 点鐘 | |
| 3. 国歌並びにJCソング斉唱 | |
| 4. JCIクリード唱和 | |
| 5. JC宣言朗読並びに綱領唱和 | |
| 6. 紹介事項 | |
| 7. 配布資料の確認 | |
| 8. 理事長挨拶 | |
| 9. 委員会タイム | 19:15 |
| 家訓プログラム 会場準備 (正副理事長・事務局 移動) | |
| 10. 家訓プログラム 開始 | 19:30 |
| 11. 副理事長 謝辞 | 20:45 |
| 会場戻し (正副理事長・事務局 移動) | |
| 12. 報告・連絡事項 | 20:50 |
| ① 理事会報告 | |
| ② 委員会報告 | |
| ③ 出向者報告 | |
| ④ 同好会報告 | |
| ⑤ 事務局連絡 | |
| ⑥ その他 | |
| 13. 直前理事長総評 | |
| 14. 閉会 | |
| 15. 点鐘 | 21:00 |

9月合同委員会 研修時レイアウト図



あなたの家に家訓はありますか？ 思いやりの心を未来に。



——「徳溢れる心醸成プロジェクト」家訓づくりプログラム



家訓はこんな効果が得られます。

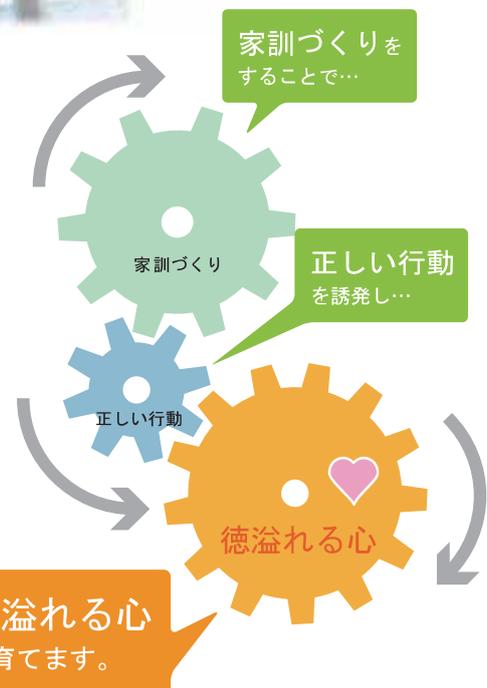
- 1 自らが生きる上での基準や価値観を認識して、**正しく生きる**ことができます！
- 2 祖先に感謝し、子どもに自信をもって正しい生き方を**教える**ことができます！
- 3 家訓の唱和により、「ハウス」から「ホーム」へ親と子が腹の底から家族であることを誇れるようになります！

「プロジェクト」の背景

心の荒廃を原因とした様々な事件がおこっています。利己主義、個人主義、社会を覆う無関心の渦。問題は多岐にわたり、本来、親から子へと受け継がれるべき、価値観までもが漂流しているのが現状です。いまこそ、われわれ自身が、日本人としての本来もちえた誇り高き精神性と美意識を見つめなおし、祖先より受け継いできた正しく生きる心、徳溢れる豊かな心を身につけ、新たな時代を担う子供達にしっかりと引き継ぐ必要があります。

家訓づくりプログラムの意義

子供たちに「理想の食卓」というテーマで絵を描かせたところ7割の絵に父親の姿がなかったというデータがあります。おやじの背中、きちんと子どもたちに伝わっていますか？「家訓プログラム」は、伝えるべき言葉を選ぶプロジェクトです。その選定が「あなた」自身の歩みであり、心の旅路は、先祖から受け継いできた価値観、徳溢れる心と出会う旅でもあります。



徳溢れる心とは・・・

日本人の高い精神性と美意識を兼ね備えた我々の使命感の源となるものです。「徳溢れる心」を醸成することにより、心の荒廃がある現代社会を打破する正しい行動（生き方）が喚起されます。

2011年度公益社団法人
日本青年会議所次世代社会創造グループ



- ・プログラムは90分の内容です。スクール形式で行い会議室の費用をのぞけば、事前の勉強、費用等はかかりません。
- ・例会、メンバー研修はもちろん。青少年系の事業の際、付き添いにくる親ご様にも最適なプログラムです。
- ・プログラムの採用をご希望される方、また詳細についてお問い合わせは下記担当者までお願いします。

担当：公益社団法人 日本青年会議所 徳溢れる心醸成会議 副議長 幅谷哲太郎
Email: tetsutaro2@yahoo.co.jp 携帯：080-3412-2700

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案) 予算 (案)

審議事項

事務局

理事セクレタリー：馬原美晴

- (1) 議案名 例会・総会の設営及び運営 事業計画 (案) に関する件
- (2) 事業名 9月例会 日程及び時間変更
- (3) 事業目的 (趣旨)
- a. (対外)
 - b. (対内) 9月例会において、例会行事に伴い、日時の変更をしたい。
- (4) 事業内容
- a. 実施日時 2011年 9月 10日 (土) 19:00～21:00
 - b. 場 所 尾道国際ホテル
 - c. 予算総額
 - d. 参加人員 内部 86名 外部 9名 計 95名
(外部内訳 仮入会員 9名)
 - e. 動員計画
 - f. 外部協力者
 - g. 実施組織・推進リーダー 馬原美晴
 - h. 実施手順・プログラム
- | | | |
|-----------------|------------|----|
| 2011年 8月25日 (水) | 第8回正副理事長会議 | 審議 |
| 8月 8日 (月) | 第8回理事会 | 審議 |
| 9月10日 (土) | 9月例会 | 実施 |
- (5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果
講師の都合により9月10日に開催したい。
- (6) 審議のポイント
日時の変更
- (7) 会議での意見とその対応
意見)
対応)
- (8) 他委員会への依頼事項等
開催日が変更されます。委員会メンバーへの周知徹底をお願いいたします。
- (9) 添付資料
例会次第 (案)

理事会

2011年 8月 8日

2011年度(社)尾道青年会議所
9月例会 次第(案)

日時:2011年 9月10日(土)

19:00~21:00

場所:尾道国際ホテル

- | | | |
|-----|---------------|-------|
| 1. | 開 会 | 19:00 |
| 2. | 点 鐘 | |
| 3. | 国歌並びにJC ソング斉唱 | |
| 4. | JCI クリード唱和 | |
| 5. | JC 宣言並びに綱領唱和 | |
| 6. | 紹介事項 | |
| 7. | 配布資料の確認 | |
| 8. | ラッキーボックス | |
| 9. | 講師入場 | 19:10 |
| 10. | 理事長挨拶 | 19:13 |
| 11. | 例会行事 | 19:20 |
| 12. | 報告・連絡事項 | 20:50 |
| | ① 理事会報告 | |
| | ② 委員会報告 | |
| | ③ 出向者報告 | |
| | ④ 同好会報告 | |
| | ⑤ 事務局連絡 | |
| | ⑥ その他 | |
| 13. | 直前理事長総評 | 20:55 |
| 14. | 閉 会 | |
| 15. | 点 鐘 | 21:00 |

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案) 予算 (案)

協議 事項

委員会名：ブロック会員研修実行委員会
副実行委員長名：佐藤敏章

(1) 議案名 仮入会員研修 事業計画 (案) 予算 (案) について

(2) 事業名 仮入会員研修

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外)

b. (対内) 本年度、仮入会員として入会された9名に対し、青年会議所活動及び運動への理解を深めて頂き、11月には全員正会員となって頂き、新入会員として青年会議所の活動が円滑に行われるようにJCに関する基礎知識を学んで頂くことを目的と致します。

また、一昨年・昨年からの内容を引き継ぎ、尾道青年会議所としての仮入会員研修のスタイルを確立したいと考えます。

(4) 事業内容

a. 実施日時 2011年 9月 8日 (木) 19:00~20:30
9月15日 (木) 19:00~20:30

b. 場 所 尾道商工会議所301号室 (予定)

c. 予算総額 ¥50,000 (詳細は別紙予算書)

d. 参加人員 内部 30名 外部 0名 計 30名
(内部内訳：理事長1名、担当副理事長1名、専務理事1名、次年度理事長予定者1名、事務局長1名、セクレター5名、ブロック会員研修実行委員会11名、仮入会員9名)

e. 動員計画

f. 外部協力者

g. 実施組織・推進リーダー ブロック会員研修実行委員会 桑田智也

h. 実施手順・プログラム

2011年 7月25日 (月)	第8回正副理事長会議	協議
2011年 8月 8日 (月)	第8回理事会	協議
2011年 8月29日 (月)	第9回正副理事長会議	審議
2011年 9月 6日 (火)	第9回理事会	審議
2011年 9月 8日 (木)	仮入会員研修1日目	実施 (予定)
2011年 9月15日 (木)	仮入会員研修2日目	実施 (予定)

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

仮入会員は、三体廻し・夏期講習・9月合同委員会に参加し、少しずつ青年会議所の事業にも慣れてきた頃だと思えます。そのタイミングで、青年会議所の目的やJC用語等の説明を聞くことで、より青年会議所に理解を深めて頂きます。

08年以前は、先輩の方を講師にお招きしての講演を軸に、JC活動の説明などを聞いて学ぶ事を主とした内容でしたが、09年、10年はJC Iカード及び綱領・宣言の発表等、仮入会員

が前に出て発表する場もありました。近年入会者によると、即実践に繋がり有意義だったと言う意見が有りましたので、今年も09、10年のｽﾀｲﾙを受け継ぎたいと考えます。

(6) 協議のポイント

予算内容について

(7) 会議での意見とその対応

意見)

対応)

(8) 他委員会への依頼事項等

正副推薦者及び拡大に携わった方に関しても、仮入会員全員が出席できるよう連絡等の御協力をお願いします。

(9) 添付資料

事業収支予算書 (案)

収支予算明細書 (案)

仮入会員研修次第(1日目) (案)

仮入会員研修次第(2日目) (案)

J C用語集 (回覧)

理事会 2011年 8月 8日

事業収支予算書(案)

事業名 仮入会研修

収入の部							
大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		50,000	50,000	0	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入				0	
	登録料収入					0	
	懇親会収入					0	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
	雑収入					0	
補助金等収入	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
寄付金収入	民間助成金収入					0	
	寄付金収入					0	
		収入合計		50,000	50,000	0	

支出の部								
大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考	
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0		
			食事代支出			0		
			会場費支出	2,000	2,000	0		
			設営費支出	7,350	7,350	0		
			運送費支出			0		
			レンタル料支出			0		
			小計		9,350	9,350	0	
		企画演出費支出	人件費支出				0	
			食事代支出				0	
			企画費支出				0	
			演出費支出				0	
			旅費交通費支出			0		
			小計		0	0	0	
		本部関係費支出	人件費支出				0	
			食事代支出				0	
			会場費支出				0	
			設営費支出				0	
			旅費交通費支出				0	
			通信費支出				0	
			運送費支出				0	
			消耗品費支出				0	
			レンタル料支出				0	
			保険料支出				0	
			渉外費支出				0	
			小計		0	0	0	
		講師関係費支出	食事代支出				0	
			旅費交通費支出				0	
宿泊費支出					0			
保険料支出					0			
諸謝金支出					0			
会合費支出					0			
	記念品代支出				0			
	小計		0	0	0			
広報費支出	運営費支出				0			
	会場費支出				0			
	設営費支出				0			
	通信費支出				0			
	消耗品費支出				0			
	レンタル料支出				0			
	作成費支出				0			
	PR費支出				0			
	小計		0	0	0			
資料作成費支出	通信費支出				0			
	資料費支出				0			
	消耗品費支出				0			
	レンタル料支出				0			
	作成費支出		400	350	50			
	小計		400	350	50			
報告書作成費支出	通信費支出				0			
	資料費支出				0			
	消耗品費支出				0			
	レンタル料支出				0			
	作成費支出				0			
	小計		0	0	0			
懇親会費支出	人件費支出				0			
	会場費支出				0			
	設営費支出				0			
	旅費交通費支出				0			
	運送費支出				0			
	レンタル料支出				0			
	保険料支出				0			
	飲食費支出				0			
	アトラクション費支出				0			
	小計		0	0	0			
渉外費支出	役員渉外費支出				0			
	記念品代支出				0			
	小計		0	0	0			
旅費交通費支出	旅費支出				0			
	交通費支出				0			
	宿泊費支出				0			
	小計		0	0	0			
参加記念品代支出	参加記念品代支出				0			
	保険料支出				0			
	通信費支出				0			
	販売物品仕入支出				0			
	雑費支出				0			
	事業予備費支出		40,250	40,300	-50			
	支出合計		50,000	50,000	0			

2011年度社団法人尾道青年会議所

仮入会員研修次第(1日目)(案)

日時：2011年 9月 8日

19:00～20:30

場所：尾道商工会議所301号室（予定）

1. 開会		19:00
2. 点鐘		
3. 国歌並びにJC ソング斉唱		
4. JCI クリード唱和		
5. JC 宣言朗読並びに綱領唱和		
6. 出席者の確認		
7. 配布資料の確認		
8. 理事長挨拶		
9. 研修内容1日目	(JC の特徴について)	19:15
	(JCI クリードについて)	
	(JCI ミッションについて)	
	(JC の三信条について)	
	(JC 綱領について)	
	(JC 宣言について)	
	(JC 用語について)	
	(JC 役職について)	
	(幹事の役割について)	20:15
10. JCI クリード・JC 宣言練習		20:20
11. 質疑応答		20:25
12. 報告連絡事項		
13. 副理事長講評		
14. 閉会		
15. 点鐘		20:30

2011年度社団法人尾道青年会議所

仮入会員研修次第(2日目) (案)

日時：2011年 9月15日

19:00～20:30

場所：尾道商工会議所301号室 (予定)

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 1. 開会 | 19:00 |
| 2. 点鐘 | |
| 3. 国歌並びにJCソング斉唱 | |
| 4. JCIクリード唱和 | |
| 5. JC宣言朗読並びに綱領唱和 | |
| 6. 出席者の確認 | |
| 7. 配布資料の確認 | |
| 8. 理事長挨拶 | |
| 9. 研修内容2日目 | |
| (JCIクリード・JC宣言発表) | 19:15 |
| (3分間スピーチ「仮入会研修を終えていま感じていること」) | |
| 10. 質疑応答 | 20:25 |
| 11. 報告連絡事項 | |
| 12. 副理事長講評 | |
| 13. 閉会 | |
| 14. 点鐘 | 20:30 |

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案) 予算 (案)

協議 事項

委員会名：尾道経済活性化委員会

委員長名：小林 輝久

(1) 議案名 9月例会行事 事業計画 (案) 予算 (案) について

(2) 事業名 9月例会行事 テーマ「震災から半年、なぜ進まない震災復興」

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外)

b. (対内)

本来なら3月例会で講演いただく予定だった参議院議員佐藤公治先生をお招きし、震災復興のビジョンや原子力の問題、管内閣等について講演頂き、我々がまず社会の問題を自分の問題としてとらえ、自分自身を問題解決の主体として位置づける機会にしたいと思います。

(4) 事業内容

a. 実施日時 2011年 9月17日 (土) 18時20分～19時50分

b. 場 所 尾道国際ホテル

c. 予算総額 ¥60,000- (詳細は別紙予算書)

d. 参加人員 内部 86名 外部 1名 計 87名

(外部内訳：佐藤公治先生)

e. 動員計画

f. 外部協力者 参議院議員 佐藤公治 先生

g. 実施組織・推進リーダー 委員長 小林輝久

委 員 谷原康弘

h. 実施手順・プログラム

2011年	7月25日 (月)	第8回正副理事長会議	協議
	8月 8日 (月)	第8回理事会	協議
	8月29日 (月)	第9回正副理事長会議	審議
	9月 6日 (月)	第9回理事会	審議
	9月17日 (土)	9月例会	実施

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

この例会行事を通じて尾道青年会議所会員の皆様にはこれまで以上に政治に関心を持っていただくと同時に、国政に携わる佐藤先生のビジョンを学ばせていただき、地域経済の発展と魅力ある故郷の創造を考える例会にしたいと思います。

(6) 協議のポイント

内容・予算について

(7) 会議での意見とその対応

(8) 他委員会への依頼事項等

佐藤先生との親睦を深めるため、例会行事終了後に懇親会を設営しております。その都合により、例会時間を変更させていただきます。委員会メンバーへの周知をお願いするとともに、メンバー全員の参加をお願いいたします。

(9) 添付資料

事業収支予算書（案）

収支予算明細書（案）

9月例会行事タイムスケジュール（案）

講師プロフィール（参考資料）

講演内容要旨（参考資料）

理事会 2011年 8月 8日

事業収支予算書(案)

事業名 9月例会行事 テーマ「～震災から半年、なぜ進まない震災復興～」

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考	
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入			60,000	-60,000		
	事業費繰入収入	事業費繰入収入				0		
	登録料収入	登録料収入				0		
	懇親会収入	懇親会収入				0		
	販売収入	販売収入				0		
	広告料収入	広告料収入				0		
	負担金収入	負担金収入				0		
	雑収入	雑収入				0		
	補助金等収入	国庫補助金収入	国庫補助金収入				0	
		地方公共団体補助金収入	地方公共団体補助金収入				0	
民間補助金収入		民間補助金収入				0		
国庫助成金収入		国庫助成金収入				0		
地方公共団体助成金収入		地方公共団体助成金収入				0		
寄付金収入	民間助成金収入	民間助成金収入				0		
	寄付金収入	寄付金収入				0		
	募金収入	募金収入				0		
収入合計				0	60,000	-60,000		

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考		
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0			
			食事代支出			0			
			会場費支出			0			
			設営費支出		7,000	-7,000			
			運送費支出			0			
			レンタル料支出			0			
			小計	0	7,000	-7,000			
			企画演出費支出	人件費支出		0			
				食事代支出		0			
				企画費支出		0			
		演出費支出			0				
		旅費交通費支出			0				
		小計	0	0	0				
		本部関係費支出	人件費支出		0				
			食事代支出		0				
			会場費支出		0				
			設営費支出		0				
			旅費交通費支出		0				
			通信費支出		0				
			運送費支出		0				
			消耗品費支出		0				
			レンタル料支出		0				
			保険料支出		0				
		渉外費支出		0					
		小計	0	0	0				
		講師関係費支出	食事代支出		0				
			旅費交通費支出		0				
			宿泊費支出		0				
			保険料支出		0				
			謝礼金支出		0				
		記念品代支出		10,000	-10,000				
		小計	0	10,000	-10,000				
		広報費支出	運送費支出		0				
			会場費支出		0				
			設営費支出		0				
			通信費支出		0				
			消耗品費支出		0				
			レンタル料支出		0				
			作成費支出		0				
		PR費支出		0					
		小計	0	0	0				
		資料作成費支出	通信費支出		0				
			資料費支出		0				
			消耗品費支出		0				
			レンタル料支出		0				
		作成費支出		0					
		小計	0	0	0				
		報告書作成費支出	通信費支出		0				
			資料費支出		0				
			消耗品費支出		0				
			レンタル料支出		0				
		作成費支出		0					
		小計	0	0	0				
		懇親会費支出	人件費支出		0				
			会場費支出		0				
			設営費支出		0				
			旅費交通費支出		0				
			運送費支出		0				
			レンタル料支出		0				
			保険料支出		0				
			飲食費支出		0				
		アトラクション費支出		0					
		小計	0	0	0				
		渉外費支出	役員渉外費支出		0				
			記念品代支出		0				
		小計	0	0	0				
		旅費交通費支出	旅費支出		0				
			交通費支出		0				
		宿泊費支出		0					
		小計	0	0	0				
		参加記念品代支出		0	0				
		保険料支出		0	0				
		通信費支出		0	0				
		販売物品仕入支出		0	0				
		雑費支出		0	0				
		事業予備費支出			43,000	-43,000			
		支出合計				0	50,000	-50,000	

収支予算明細書(案)

事業名 9月例会行事 テーマ「～震災から半年、なぜ進まない震災復興～」

<収入明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備 考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			60,000	
合 計				60,000	

<支出明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備 考	
事業費支出	会場設営費支出	設営費支出	例会看板	7,000	(有)メディアアクション	
	小 計				7,000	
	講師関係費支出	食事代支出	懇親会費用	5,000	尾道国際ホテル	
	講師関係費支出	記念品代支出	尾道乾物詰合せ	5,000	(株)カタカ	
	小 計				10,000	
	小 計				0	
	小 計				0	
	小 計				0	
		参加記念品代支出				
	保 険 料 支 出					
	通 信 費 支 出					
	販売物品仕入支出					
	雑 費 支 出					
事業予備費支出				43,000		
合 計				60,000		

9月例会行事 タイムスケジュール (案)

18:20	例会行事開始	
18:20～18:23	委員長趣旨説明	3分
18:23～19:23	講演	60分
19:23～19:45	質疑応答	22分
19:45～19:48	副理事長謝辞	3分
19:48～19:50	講師退場	2分
19:50	例会行事終了	

佐藤こうじのプロフィール

- 1959年7月28日 広島県尾道市向島町 生まれ
 - 1983年3月 慶應義塾大学法学部政治学科 卒業
 - 1983年4月 株式会社電通 入社
 - 1990年3月 株式会社電通 退社
 - 1990年4月 国土庁長官 佐藤守良 秘書官 拝命
 - 1991年1月 衆議院議員 佐藤守良 公設第一秘書 就任
 - 1994年4月 北海道沖縄開発庁長官 佐藤守良 秘書官 拝命
 - 1994年7月 衆議院議員 佐藤守良 公設第一秘書 再任
 - 1996年3月 新進党 広島県第六総支部 会長 就任
 - 1996年10月 第41回衆議院議員総選挙 出馬
 - 1999年7月 自由党 広島県第六総支部 会長 就任
 - 2000年1月 自由党 広島県総支部連合会 会長 就任
 - 2000年6月 第42回衆議院議員総選挙 出馬および、当選
 - 2003年9月 民主党 広島県総支部連合会 副代表 就任
 - 2003年11月 第43回衆議院議員総選挙 出馬および、当選
 - 2005年3月 民主党 広島県総支部連合会 代表 就任
 - 2005年9月 第44回衆議院議員総選挙 出馬
 - 2006年9月 民主党 広島県参議院選挙区第二総支部 総支部
 - 2007年7月 第21回参議院議員選挙 出馬および、当選
-

国会議員在職中の委員経歴

- 常任委員
 - 逓信委員(ていしんいいん)
 - 総務委員
 - 厚生労働委員
 - 文部科学委員
 - 安全保障委員
 - 懲罰委員
 - 経済産業委員

- 特別委員
 - 沖縄及び北方領土に関する特別委員
 - イラク人道復興支援並びに国際テロリズムの防止及び我が国の協力支援活動等に関する特別委員
 - 国際テロリズムの防止及び我が国の協力支援活動並びにイラク人道復興支援活動等に関する特別委員

講演内容要旨（参考資料）

「～震災から半年、なぜ進まない震災復興～」

●道州制に向けて 理念・哲学が大切

三原市と合併⇒陸・海・空が揃う（広島県では稀な存在）
しかも、伝統と文化も揃っている

●本質を見よう 日本人は考えなくなった

相撲の八百長
テロと貧困

- ・小沢先生について
- ・蓮舫議員について
- ・水問題（バーチャルウォーター）について
- ・TPP、FTAについて
- ・資産の現金化、ハイパーインフレの可能性
- ・フリーメイソンについて

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案)

委員会名：次代の宝育成委員会

委員長名：西本 周一郎

(1) 議案名 親の教育力向上事業の調査・研究・実践について

(2) 事業名 徳溢れる心醸成会議 第3小委員会プログラム「リアル熟議in日本人の教育推進会議」
テーマ「今、子どもたちに学んでほしいこと」
～学校・家庭・地域の協働による教育づくり～

(3) 事業目的 (趣旨)

「徳溢れる心醸成プロジェクト (教育推進会議実施計画) 及び予算 (案) 承認の件」より引用

a. (対外)

徳溢れる心を醸成するためには、日本人の高い精神性と美意識を更に高める教育や、品格と価値観ある教育者による教養を諭すことが必要であると考えます。そのためには、まずは教育に関わる諸団体のそれぞれの立場の主張を理解し議論をする場を創設し、情報を共有することが必要です。本事業では教育関係団体と定期的な会議を開催し、日本 (地域) の教育の課題についてそれぞれの立場での問題点を意見交換し、共通の認識、各団体の目的、方向性を確認することで、国 (地域) の道徳力を高める公教育の実現を目的とした会を創設します。

b. (対内)

徳溢れる心を醸成するためには、日本人の高い精神性と美意識を更に高める教育や、品格と価値観ある教育者による教養を諭すことが必要であると考えます。そのためには、まずは教育に関わる諸団体のそれぞれの立場の主張を理解し議論をする場を創設し、情報を共有することが必要です。本事業では教育関係団体と定期的な会議を開催し、日本 (地域) の教育の課題についてそれぞれの立場での問題点を意見交換し、共通の認識、各団体の目的、方向性をメンバーが確認し、さらに日本青年会議所が全国組織の教育関係団体とつながることで、地区、ブロック、L O M、地域でおきている教育問題を抽出し、全国組織の教育関係団体や学校関係者に J C メンバーと地域の声をつなげることで、J C メンバーと地域が学校 (教育) を支える仕組み (コミュニティスクール等) を推進していきます。それにより J C メンバーが教育に対してより関心を持ち、次代の子どもたちの教育に積極的に参加できる仕組みを構築していくことで、道徳力を高める公教育の実現を図ります。

(4) 事業内容

a. 実施日時 2011年 9月23日 (金、祝日) 13:00～17:30

b. 場 所 尾道市しまなみ交流館大会議室 (尾道市東御所10番1号)

c. 予算総額 徳溢れる心醸成会議にて負担

d. 参加人員 内部25名 外部25名 計50名
(内部内訳 尾道JC15名 日本JC10名)

e. 動員計画

・文科省「熟議カケアイ」サイトによる掲載

http://jukugi.mext.go.jp/library_view?library_id=308

・尾道市しまなみ交流館広報、尾道市広報による告知

・尾道市教育委員会、尾道市PTA連合会からの資料配付による誘致

・外部協力団体、有識者のコネクションによる誘致

・尾道青年会議所メンバーによる教員、一般保護者の誘致

f. 外部協力者

メインゲスト

山口大学 教授 長畑実 様

(エクステンションセンター長、社会教育学、博物館学)

コーディネーター兼ゲスト

尾道市議会議員 柿本和彦 先輩

開催協力 (相談役)

尾道市教育委員会 課長補佐兼主査 梶原弘志 様 (学校教育部 教育指導課)

〃 専門員 内海直子 様 (生涯学習課 生涯学習係)

(株)教育同人社 広報室長 余川亘 様

広島大学付属東雲中学校 副校長 神原一之 様

g. 実施組織・推進リーダー 委員 榊原 靖貴

主催 (公社) 日本青年会議所 次世代社会創造グループ 徳溢れる心醸成会議

後援 (社) 尾道青年会議所

尾道市教育委員会 (申請予定)、文部科学省 (市教が後援となれば後援可)

尾道市PTA連合会 (申請予定)

徳溢れる心醸成会議 第3小委員会 (当プロジェクト推進者)

徳溢れる心醸成会議 島川副議長

h. 実施手順・プログラム	2011年	7月25日 (月)	第8回正副理事長会議	協議
		8月8日 (金)	第8回理事会	協議
		8月29日 (月)	第9回正副理事長会議	審議
		9月6日 (月)	第9回理事会	審議
		9月23日 (金)	9月例会	実施

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

尾道の教育の課題についてそれぞれの立場での問題点を意見交換し、共通の認識、方向性をメンバーが確認し、さらに尾道青年会議所が地域の教育関係団体とつながることで今後の活動に役立てることができるものと考えております。是非ご参加のほどよろしくお願い申し上げます。

今回の会議では、講師をお招きし皆様にお話しを聞いていただくだけではなく、参加者が持っておられる意見を発表していただくことにより、尾道の教育の現状を皆様に認知いただきたいと思います。そのため、活発な意見交換で出来るように、各グループに別れていただき、意見交換を行っていただきます。また各グループにはファシリテーターをつけることで、より意見を交換し易い場を目指します。

また今回の会議で皆様からいただいた意見を政策に反映させていただくために、尾道市教育委員会、文部科学省にも御後援いただき、事前に相談をする等、御協力をいただく予定です。

(6) 協議のポイント

内容について

(7) 会議での意見とその対応

(8) 他委員会への依頼事項等

出向先の要望により尾道にて開催することとなりました。尾道メンバーには下記をお願いをする事になると考えます。公私共にお忙しなか誠に申し訳ありませんがご協力のほどよろしくお願い致します。

依頼事項

- ・事業に各委員会で2名程の参加（9月合同委員会迄に参加者名のご連絡をお願いします）
- ・一般参加者、教員参加の誘致（個別にご依頼します）

(9) 添付資料

- ・スケジュール
- ・運営要綱
- ・講師プロフィール
- ・熟議について

理事会 2011年 8月 8日

リアル熟議の進行について（例）

熟議について

「熟議」とは、多くの当事者による熟慮と討議を重ねながら、政策形成・課題解決していくことです。相互に学び合いながら、解決策を洗練させるとともに、解決に向けてそれぞれが主体的に行動することをも目指すものです。

熟議の進め方

今回の熟議は、右イラスト図1、2のように2つのラウンド（議論の場）で構成しています。第1ラウンドは、課題を出し合い、共有化する場、第2ラウンドは、課題解決策を出し合い、意見交換する場です。

進め方は以下の通りです。（進行はファシリテーターが行います。）

●第1ラウンド ※ファシリテーターは、話しやすい場作りや出た考えの整理など、熟議の支援と促進を行います。

(1) 自己紹介（1人1分程度）

(2) 討議

①ピンク色の付箋紙に、テーマに関する課題を端的に記入します。（3分程度）

※1枚に課題を1件記入します。

※1人複数枚作成可能です。

②ファシリテーターの進行で、順に付箋紙を模造紙に貼りながら、発表していきます。

③ファシリテーターが課題を整理していきます。



●第2ラウンド

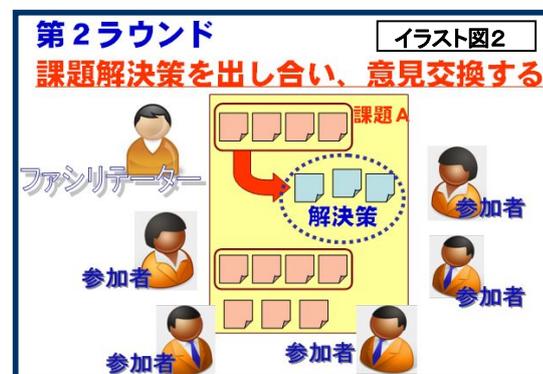
①まず発表者を決めます。

②ファシリテーターの指示に従って、第1ラウンドで明確になった課題に対する解決策を青色の付箋紙に記入します。（3分程度）

※中身としては、「課題に対して、自分はこうした、みんなでこうしましょう。」といった具体的な内容を記入します。

③ファシリテーターの進行で、順に付箋紙を模造紙上の関係する場所に貼りながら発表します。

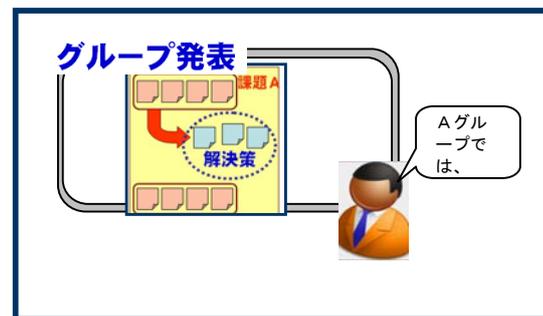
④ファシリテーターが解決策を整理し、発表内容を確認します。



●グループ発表

・各グループの討議結果を発表します。

※各グループ2分以内



<参考> 「熟議五カ条」

一) 人の話をよく聴く

二) 挨拶をする

三) 簡潔に分かりやすく伝える

四) 人を傷付けない

五) 共感や感想、考えの変化があったら表明する

参照：熟議実践パッケージ「熟議__虎の巻」ver.1.0より

リアル熟議 in 日本人の教育推進会議の運営要項 (案)
テーマ「今、子どもたちに学んでほしいこと」
～学校・家庭・地域の協働による教育づくり～

2011/9/23

開演・挨拶など 10分

主催者代表挨拶	徳溢れる心醸成会議	穂坂議長
メインファシリテーター	徳溢れる心醸成会議	島川副議長

ゲストからの問題提起 (熟議説明含む) 45分

ここでは、広く概念的に、スローガンの的に

- | | | | |
|---------|----|---------|----------------|
| 1) 学校代表 | 5分 | 学校の立場から | 先生、教育委員会等(調整中) |
| 2) 企業代表 | 5分 | 企業の立場から | 手塚理事長 |
| 3) 地域代表 | 5分 | 地域の立場から | 柿本先輩 |
| 4) 親代表 | 5分 | 親の立場から | PTA 関係者 (調整中) |

※それぞれの立場から協働することの大切さを語ってもらい、協働の必要性を再確認する。

内容的には

- ・先生、保護者、地域の方々が情報を共有することの必要性
- ・それぞれの立場で今まで行ってきたこと。これから必要だと考えること

5) 山口大学 長畑教授 15分

※熟議の流れをつくって貰う

「授業」のイメージを柔軟にもってもらい、流れをつくって貰うことでのちの議論がかみ合うようにする。

内容的には

- ・今、子どもたちを取り巻く環境 (多様化、少子化、高齢化社会、その他課題等)
- ・なぜ、先生、保護者、地域の方々が情報を共有することが必要なのか
- ・簡単に各地での協働の例、授業プラン例
- ・尾道を日本一の教育のまちにする等々 熱く語って貰う

熟議の説明 (メインファシリテーター) 10分

1. ゲストの問題提起を受けて話し合い

☆熟議1. 「子どもたちに学んでほしいこと (地域でこんな子どもに育てたい)」 40分

こんな子どもに育てたいという話し合いの中で、学校の課題、共同の壁も出てくる
 子どもの現状から出発し、子どもたちに身につけてほしいことを出し合う

- 1) こんな子どもに育ててほしいという願いや想いを、文字で表現します (付箋に書く)。
 例: 人と関わる力をつけたい、地域をもっと盛り上げたい、など
- 2) グループのメンバーがどんな願いや想いを持っているのかを知りましょう。
 先生と保護者、地域ではそれぞれ考え方が違うところがあるかと思えます。その方の年齢によっても考え方が違うかと思えます。でもその中でも共通するところが見えてくるかと思えます。
- 3) 自分たちのグループのテーマを見つけましょう。
 例: 感じる力、気付く力、動く力、つながる力、築く力、コミュニケーション能力など

休憩

10分

☆熟議2.「プラン(授業)を作る 地域とつくる授業プラン」

60分

こんなプランを実現すれば、子どもにこんな力がつくんだというプラン！

「こんなことしてそれからこんなことして最後には」というようなざっくりとした青写真を考える。

- 1) こんな授業をしたいと夢を描きましょう。
 - ・今からできること、実現したいこと、前進したいこと
 - ・自分がしたいこと、自分が人と協力して創っていきたいことを文字で表現しましょう。
(熟議1. とは違う色の付箋に書く)
- 2) メンバーの考えを受け止めながら、さらに視野を広げ、考えを深めていきましょう。
- 3) 模造紙にプランを描きましょう。
- 4) 自分が日頃考えていること、実践していることを多様な角度から立体的に見てみましょう。
自分のできること、お役にたてることはないか振り返ってみましょう。
- 5) グループのメンバーで考えたことを2分間で発表できるように準備しましょう。

全体シェア

20分

- ・それぞれのグループでどんな熟議がされたのかを分かち合います。
全体発表型

☆ゲストの総括(長畑教授)

45分

提案のあったプランの学びの豊かさ

実現の可能性とそのため助言

プランのブラッシュアップのアドバイス

私ならこうする！ゲストからの提案

各地での学校と地域が協働するモデルの紹介

地域と協働することで子どもに育つ力事例の紹介から「授業」のイメージを変える

2. 参加者としての立場

自分の職場や組織・団体などを代表して参加するのではなく、参加者一人一人が、「個」として参加しましょう。肩書きに縛られたり、縛ったりするのはやめましょう。

(例えば、昼間は行政マンでも、夜はパパ、土日は少年スポーツのコーチだったりするわけです)

参加者みんなが、「尾道の教育に責任を持ち、一緒に課題を解決し、尾道、日本の教育をさらに前進させよう！とする仲間である」というところからかわりあいましょう。

3. 熟議に参加するにあたってのルール

- 1) 他の人の発言を良く聴きましょう。
- 2) 話すときは、みんなに聞こえるように話をしましょう。
- 3) 発言は、簡潔に分かりやすく伝えましょう(1回の発言で言いたいことは1つだけ)。
- 4) 人の発言を否定したり、傷つけたりするような発言はひかえましょう。
- 5) 共感や感想、自分の考えが変わったことなども伝えましょう。
- 6) 結論を誘導したり、無理にまとめようとしたりする必要はありません。
- 7) 多様な考えを場に出せるような雰囲気づくりをみんなですていましょう。

各グループにファシリテーターがいます。ファシリテーターは、話しやすい場づくりに努め、出た考えを整理することに努めましょう。みなさんと共に熟議を創っていく立場で関わります。熟議をすすめるにあたって必要な係は、グループ内で積極的に分担しましょう。

例) ・タイムキーパー ・発表者 など

4. 熟議のグルーピングについて

- 1) グループは、2時間で話が深められるように、ファシリテーターを含めて6～7人で構成。
- 2) グループのメンバーは、多様であることが大切です。登録された参加者の所属（教職員、教員を目指す大学生、保護者、地域、教育行政、企業団体）に従い、主催者側であらかじめグループ分けをします。

山口大学 教授 長畑実（ナガハタミノル）氏

現職 山口大学 エクステンションセンター センター長

研究分野 社会教育学、博物館学

研究テーマ

新たな時代の要請に応える社会教育の在り方に関する研究

・社会教育、学校・家庭・地域の協働、協働のまちづくり

ミュージアムの地域活性化機能に関する研究

・ミュージアム・マネージメント、地域文化、まちづくり、市民参画

大学開放と地域連携のあり方に関する研究

・大学開放、地域連携、協働のネットワーク

委員歴・役員歴

防府市市民参画及び協働の推進に関する条例検討委員会 委員長 2011-2012

防府市まちづくり委員会 副委員長 2009-2011、防府市地域コミュニティ検討協議会 委員 2009-2012

岩国市立由宇中学校 コミュニティ・スクール推進委員 2010-2011

山口県セミナーパーク指定管理者選定委員会 委員長 2010-2011

宇部市文化芸術振興条例（仮称）検討委員会委員 会長 2010-2011

環境やまぐち推進会議 委員 2009-2011、周南市社会教育委員 2009-2011

宇部市ふるさと学習館設計競技審査委員会 委員 2009-2010

大学コンソーシアムやまぐち 運営委員長 2007-2009

広島県歴史民俗資料館及び歴史博物館評価委員会 委員 2008-2009

山口県立山口図書館運営協議会 会長 2006-2009、山口県環境学習推進協議会 会長 2006-2009

山口国体県民きらめきセンター運営委員会 委員長 2007-2009

山口県立山口中央高校 学校評議員・学校関係者評価委員 2008-2009

山口県中山間地域づくり懇話会 委員 2006-2008、山口県教育会 理事 2007-2009

宇部市緑と花と彫刻の博物館協議会 会長 2007-2009

やまぐち食と緑と水のフォーラム協議会 副会長 2007-2009

宇部市社会教育委員会 委員長 2007-2009、防府市生涯学習アドバイザー 2005-2011

防府市放課後子どもプラン運営委員会 委員 2007-2008

防府市市民参画懇話会 委員長 2006-2009、周南市公民館運営審議会 委員 2005-2009

秋吉台地域観光長期基本計画策定委員会 アドバイザー 2007-2008

秋吉台地域交通対策検討委員会 委員 2006-2007

山口情報芸術センター企画運営会議 委員 2005-2007

所属学会

日本ミュージアム・マネージメント学会、日本社会教育学会、全日本博物館学会、日本環境教育学会

徳溢れる心醸成会議 第3小委員会プログラム 当日スケジュール (案)

9月23日(金)

準備等

10:30	集合 会場準備(～11:00)
11:00	最終打合せ(ゲスト、ファシリテーター) ファシリテーター講習開始(～12:00)
12:00	休憩

事業

13:00	受付開始(尾道メンバー参加者集合)
13:30	開演・挨拶など
13:35	ゲストのお話
14:10	熟議説明
14:20	熟議①(テーマに沿った問題点の抽出)
15:00	休憩
15:10	熟議②(問題点の解決策)
16:10	グループ発表
16:30	ゲスト講評
17:10	挨拶
17:20	閉演
17:30	撤収

懇親会

18:00	懇親会(たまたんぞう)
-------	-------------